

「麻生家文書」発信原稿細目録(2)

田代，恵悟
九州大学大学院人文科学府：博士後期課程

原口，大輔
九州大学附属図書館付設記録資料館：准教授

<https://doi.org/10.15017/7443949>

出版情報：九州大学附属図書館研究開発室年報．2025/2026，pp.55-75，2026-10-06．九州大学附属図書館

バージョン：

権利関係：Creative Commons Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International



「麻生家文書」発信原稿細目録 (2)

田代 恵悟[†] 原口 大輔[‡]

【キーワード】 麻生家文書、日本近代史、石炭産業、都市史、アーカイブズ

Detailed Catalog of Drafts in Aso Archive (2)

TASHIRO Keigo HARAGUCHI Daisuke

(1) はじめに

前号掲載の「「麻生家文書」発信原稿細目録 (1)」に引き続き、本号でも「麻生家文書」の調査・研究をより充実させるために「発信原稿」(以下「」を外す)の細目録を作成した。発信原稿にかんする基本的な書誌情報は前号に譲るが、簡単に確認しておく、「麻生家文書」には麻生太吉やその家族、あるいは経営する麻生商店が発信名義となる書簡案、電報案の控えの冊子が年次ごとに作成され、おおよそ日付順に綴られている。この発信原稿には、麻生本人の筆跡に加え、家政を掌る吉浦勝熊、さらに別人の筆跡が確認でき、複数人の人物が発信原稿にアクセスできたことが示唆される。加えて、宛名の敬称も、書簡案では「様」、「殿」の二種類、電報案ではそれらの敬称がない点の特徴である。

本稿では大正期の発信原稿22点のうち、大正8年(1919)から大正9年(1920)にかけての6冊の細目録を発表する。『麻生太吉日記』では第二巻にあたる¹。細目録一覧を紹介するにあたり、当該期の麻生太吉の活動を簡単に紹介しておく²。政治活動としては、引き続き貴族院議員(多額納税者議員・研究会)として帝国議会議席を有しており、議会議期中は、一定期間上京して議員活動を行っていた。同時に、麻生は立憲政友会会員ということもあり、政友会福岡県支部の一員として活動している。具体的な動向は(2)に譲るが、選挙の時期となると、政友会関係者との間で候補者擁立など選挙に向けたやりとりも確認できる。とりわけ、当該期は政友会を与党とする原敬内閣の時期であり、精力的な活動が可能だったものと思われる。あわせて、議員として地域社会への利益誘導や、議会への請願の紹介者ともなっていた。

経済活動としては、太吉は大正8年3月に長年務めた筑豊石炭鉱業組合総長を辞任し、松本健次郎へと交代した。その後、同年6月には後藤寺・飯塚を結ぶ軽便鉄道である九州産業鉄道の取締役役に就任している。一方、大正8年3月4日、後継者でもあり、麻生商店取締役でもあった三男・太郎が死去した。太吉はすぐさま孫となる太郎の長男・太賀吉を跡継ぎと定めたものの、太賀吉はまだ幼いこともあり、養子の義之介を取締役に据え、翌年に久原鉱業から野田勢次郎を取締役として迎えるなど、麻生商店の体制の見直しに迫られることとなる。

† たしろ けいご 九州大学大学院人文科学府博士後期課程
(〒819-0395 福岡市西区元岡744) E-mail: tashiro.keigo.480@s.kyushu-u.ac.jp

‡ はらぐち だいすけ 九州大学附属図書館付設記録資料館准教授
(〒819-0395 福岡市西区元岡744) E-mail: haraguchi.daisuke.110@m.kyushu-u.ac.jp

1 麻生太吉日記編纂委員会編『麻生太吉日記』第2巻(九州大学出版会、2012年)。

2 以下の内容は、麻生太吉日記編纂委員会編『麻生太吉日記』第5巻(九州大学出版会、2016年)所収「麻生太吉関係年譜」をもとにしている。

以下、各冊子に記された発信控から、いくつか内容を紹介する。なお、発信原稿の内容のうち電力事業については、新鞍拓生氏による成果に譲る³。

(2) 発信原稿をのぞく

1. 東洋製鉄による戸畑港設備の拡張

前号で紹介したように、太吉は、東洋製鉄株式会社（東鉄）の創立以来、取締役として経営に参画していた。同社は、大正8年5月に製鉄事業の操業を開始したが、それに先立ち、海運上の便宜を図る目的で、戸畑地区における汽船用岸壁の築造・埋立と浚渫作業を実施していた。一方、戸畑を含む洞海湾一帯は、明治23年（1890）に創立した若松築港株式会社（若築）の事業範囲であったため、若築保有の諸権利を東鉄へ譲渡する交渉が開始する（の-43-156）。若築の取締役でもあった麻生は、「物好ニモ双方会社之意向相通シ候」ゆえ（の-43-160）、両社の交渉の仲介にあたった。

交渉の争点は、権利譲渡に際し、東鉄が若築にどのような形で補償するのか、そして、戸畑漁業組合への補償金をどちらが負担するのかという2点にあった。麻生は、6月上旬までに、東鉄取締役の和田豊治との間で、「名義料」や「実費」として計8万円を若築へ支払い、漁業組合への補償金6千円は両社で折半とする妥協案を見出している（の-43-175、216）。この間、麻生は胃痙攣を患いながらも、両社に対してこの条件での交渉妥結を主導した（の-43-205、261など）。

結果、同年10月には権利譲渡が許可され⁴、12月の東鉄株主総会にて、定款第3条で定める事業目的に、「戸畑工場地先内浦並ニ外浦ヨリ小倉市地先ニ亘ル海面ノ埋立並ニ埋立地ノ利用」を加えることが議決され、権利譲渡交渉は終結した⁵。

2. 麻生太吉と第14回衆議院議員総選挙

大正9年5月10日、第14回衆議院議員総選挙が執行された。本選挙は、前年の衆議院議員選挙法の改正に伴い、小選挙区制が導入されるとともに、選挙権の対象が直接国税を3円以上納める男性に拡大された中で行われた。

前号での紹介に比べると少数であるものの、本選挙でも、麻生は福岡市と筑豊地域での選挙に関与している。前者については、前職の松永安左エ門への政友会系勢力の支持が固まりつつあることを、黒田長和（黒田長知四男、直方黒田家当主）に報じている（来-34-141）。黒田は当時、第13回総選挙で松永に敗れ、初当選を目指していた中野正剛陣営に対し、「太田清蔵、麻生太吉、栗野〔慎一郎〕子ヲ有利ニ誘導スベキ約束」を結んでいた⁶。もっとも、発信控を見る限り、麻生が福岡市の政友会系勢力に手を入れた形跡は見られない。また、安川敬一郎も前回に引き続き中野を支援している⁷。このためか、麻生は、中野ら『東方時論』同人を中心に組織された会合・後援団体である東方会にも援助を与えている⁸。

後者については発信原稿からは窺いづらいが、日記や来簡と併せ見ると、麻生の活動が見えてくる。麻生は遠賀・鞍手・嘉穂の3郡からなる第10区（定数3）において、東洋製鉄や明治鉱業といった、筑豊炭坑資本家が参画する企業単位での支持調達を図っていた⁹。票の取り纏めの過程では、資

3 新鞍拓生『筑豊鉱業主麻生太吉の企業家史』（裏山書房、2010年）、同『九州の企業家麻生太吉の産業統治』（一粒書房、2022年）、同「麻生太吉書簡集（一、電力業〈その一〉）—麻生太吉日記関係史料—」（『石炭研究資料叢書』第33号、2012年）、同「麻生太吉書簡集（一、電力業〈その二〉）—麻生太吉日記関係史料—」（『石炭研究資料叢書』第34号、2013年）、同「麻生太吉書簡集（一、電力業〈その三〉）—麻生太吉日記関係史料—解説」（『石炭研究資料叢書』第43号、2023年）。

4 東洋製鉄株式会社『営業報告書』第4期（1919年）、5頁。

5 東洋製鉄株式会社『営業報告書』第5期（1920年）、3頁。

6 『戦袍』大正9年3月10日条（波田永実「中野正剛と大正後期の福岡市政界」（西日本文化協会編『福岡県史』近代研究編各論（一）（福岡県、1989年）所収）、140頁）。

7 例えば、安川は、政友会への中野の支持の保証を交換条件に、政友会系勢力による中野支援を太田清蔵らへ働きかけている（北九州市立自然史・歴史博物館編・刊『安川敬一郎日記』第3巻（2011年）大正9年3月18日条、361頁）。

8 関連史料として、「中野正剛氏関係東方会援助ニ関スル事蹟」（「麻生家文書」た-24）。本簿冊に編綴される書簡の中に、「中野正剛氏福岡より立候補に就ては何夫と高配を忝し」たことへの礼状もあり、選挙時の中野支援が示唆される（〔大正9年〕4月12日付麻生太吉宛三木喜延書簡（同上所収））。

9 『麻生太吉日記』第2巻、大正9年4月29日条、270頁。

本家当人のみならず、坑長といった現場の人間も介しており、発信原稿に残る坑長との連絡杜絶に対する照会や（来-34-169、170）、松本健次郎に対する「明治炭坑員諸氏之事」への礼状（同187）は、この工作が背景に推察される。

しかし、第10区では、伊藤伝右衛門が経営する大正鉱業分の票が前職の赤間嘉之吉（伊藤商店総支配人）に流れ、同区から出馬した他の政友会の公認候補者が不利になる状況（「三好大正損害」）も発生しており¹⁰、麻生は赤間の制止を企図している（来-34-192）。

なお、第14回総選挙の結果、福岡市（第1区）では中野が初当選を果たし、第10区では、赤間の影響を受けたとされる三好徳松は当選できたものの（来-34-200も参照）、赤間は落選した。

3. 地域社会への利益誘導¹¹

貴族院議員として活動する麻生は、飯塚をはじめとする筑豊地域への種々の利益誘導活動を展開していた。その対象は、後藤寺一飯塚間の鉄道敷設や電話線架設（の-43-176）、新築した飯塚郵便局の昇格を前提とした買上（来-34-450）、飯塚区裁判所支部の昇格と、直方などの競合する近隣地域による運動への対応など（議会5（1）-34-12、13）、多岐にわたる。

大正8年2月、麻生は飯塚町長である藤森善平と覚書を交わしており、鉄道敷設や郵便局の昇格、区裁判所支部の昇格など、計7項目に対する「御配意」や「御尽力」が要請されていた¹²。上記に掲げた発信控からは、麻生がそれらを自身の地位や有する人脈を駆使しながら履行した様子が看取される。特に、鉄道や郵便、電話といった通信行政に関しては、福岡県選出の政友会所属衆議院議員であり、当時の原敬内閣で通信大臣を務めた野田卯太郎、およびその秘書官の吉原正隆と、緊密な連携を図っていたことも見逃せない。

この他、大正7年に従業員を対象として開設した麻生炭坑病院が、大正9年10月より、私立飯塚病院として一般診療を開始したことも特筆される（来-34-368、369）。これも、上掲の「覚書」で約束されていた事項であった。

なお、飯塚町への利益誘導に関する史料は、「重要書類」や「肝要廉付」などとして編綴された簿冊群の中にも見いだされる¹³。日記・来簡・発信控の相互参照に加えて、かかる簿冊との対照も必要であろう。

4. 三井電気軌道合併問題

三井電気軌道（三井電軌）は、甘木―福島間を結ぶ私鉄である。大正8年末、同社について、麻生は、「三井電鉄^{（ママ）}多数株主ニ於テ九水〔九州水力電気〕ニ合併希望モ候ハ、微力相尽可申」と合併判断を株主の判断に委ねる姿勢を見せながらも、「小生之見込ニテハ〔中略〕合併ハ株主トシテハ安全ト相信申候」と、合併を勧奨する意向を示している（の-45-98）。この発信控は、九水による県内の電気軌道の統合構想の有無に関する照会¹⁴に対する応答だと考えられる。

その後、九水は合併こそ行っていないものの、翌年2月に三井電軌と電力供給契約を交わし、同社との関係性を強めた。三井電軌にはもともと、九水の競争相手であった九州電灯鉄道〔九電鉄〕が電力を供給しており、したがって、この発信控の背景には、九水対九電鉄という大正元年以来の対立構図が伏在していると見るべきだろう。

しかし、大正13年になると九電鉄の後継企業である東邦電力支配下の九州鉄道によって、三井電軌は同社が有する電力供給権の獲得や、交差線の解消を目的に買収されることとなる¹⁵。

10 〔大正9年〕5月6日付麻生太吉宛三好選挙事務所伊藤吉太郎書簡（「麻生家文書」書簡 T9-359）、『麻生太吉日記』第2巻、大正9年5月7日条、272頁。

11 本項については、麻生太吉翁伝刊行会『麻生太吉翁伝』（同会、1935年）、303-324頁も参照。

12 大正8年2月21日付「覚書」（「大正六年八月起 重要書類」（「麻生家文書」な-15）所収）。該日の日記には、「藤森町長相見ヘタリ、用件ハ別記」とある。「別記」がこの覚書を指すものと考えられる（『麻生太吉日記』第2巻、同日条、222頁）。

13 例えば、支部昇格問題については、「福岡地方裁判所飯塚支部昇格上申理由書」が、前掲「大正六年八月起 重要書類」に編綴されている。

14 〔大正8年〕12月16日付麻生太吉宛中村彦介書簡（「麻生家文書」書簡 T8-824）。

15 西日本鉄道株式会社100年史編纂委員会編『西日本鉄道百年史』（西日本鉄道、2008年）43-44頁。

5. 冷水鉄道敷設に向けて¹⁶

明治25年に制定された鉄道敷設法では、九州線において飯塚・原田間が予定線として定められた。筑豊鉄道は、飯塚から筑紫郡山家村を経て、原田駅または鳥栖駅へと通じる線路敷設を出願し、明治27年7月31日に仮免状を下付された。しかしながら、嘉穂郡内野村から山家に通じる冷水峠を抜けるトンネルは難工事が予想され、また申請区間の予算も宛がわれずといった状況が長らく続いていた。そのため、大正8年1月末、福岡県選出の政友会所属代議士である赤間嘉之吉、山内範造が改めて敷設に向けて運動することとなり、貴族院側でも太吉が協力することとなった。

2月7日、請願が衆議院で採択されたため、野田卯太郎通相、元田肇鉄道院総裁（のち鉄相）とさらなる協議をはじめたが、太吉は太郎の病氣看病のため帰宅せざるを得ず、冷水鉄道の件は同じく福岡県選出の政友会所属代議士・森田正路、赤間、山内に任せることとなった（の-43-28）。しかし、山内らは太吉抜きでの運動は難しいと判断され、改めて同年夏より上京し、飯塚町長・藤森善平らによる冷水鉄道期成同盟会と協力しつつ、予算獲得・工事着手に向けて運動を行うこととなった（の-43-267、283、の-44-1、4、10）。その後、9月8日、太吉は堀三太郎・伊藤伝右衛門とともに上京し、山口恒太郎とともに野田通相、石丸重美鉄道院副総裁を相次いで訪問し、冷水鉄道敷設は閣議決定によるとの答弁を引き出すことに成功した（の-45-18）。直後の第42議会は解散となったが、総選挙後の第43議会で鉄道敷設法改正案が可決され、冷水線敷設が実現することとなった。ただし、工事着手は大正14年まで遅れ、昭和4年（1929）にようやく完成することとなる。

これまで述べてきたような太吉の政治活動において、上京中は日本橋にある島屋旅館が拠点となっていた¹⁷。島屋旅館は宿泊のみならず、太吉の各種支払い代行や（の-43-2、76）、香典やお見舞い送付の代理（例えば、の-43-84、239、来-34-16、114、143、168、189、233、236、327、354など）を担っていたことも発信原稿からは窺える。

6. 麻生太郎の死去

大正8年は麻生家にとって訃報が相次いだ一年であった。2月26日、太吉の三男・太郎の義父である加納久宜が療養先の別府で死去し、その直後の3月4日、太郎が33歳（数え年）の若さで死去した。かつて浜の町別荘で太郎の教育にあたった清水壮左久に宛てた書簡によれば、太郎は2月19日に大阪から帰宅後発熱したので、静養することとなった。その後、3月1日に容体が急変したため、三宅速、井戸泰の両名に診察してもらったものの、「治療モ効ヲ奏」しなかった（の-43-49）¹⁸。

太郎の死後、麻生家としては後継者を太賀吉と定め、太郎名義の財産は太賀吉へ相続することとなった（の-43-98）。とはいえ、太吉が「杖とも柱とも頼」み¹⁹、「経営事業之大半」を任せていた（の-43-188）太郎の突然の死により、太吉は麻生商店の立て直しを余儀なくされ、東九州の電力事業を展開していた太吉の経営活動にも少なからぬ影響を与えたものと思われる。

7. 「我国の石炭問題」の寄稿

『福岡日日新聞』は大正9年元旦より2月18日まで「我国の石炭問題」と題した連載を企画した。この連載は、広く石炭産業関係者に対し、①「炭価は将来益々昂騰すべきか又は下落すべきか」、②「昂騰が続くものとせば其が産業界に及ぼすべき影響如何、又輸出禁止其他何等かの応急策を講ずるの必要なきか」、③「日本将来の石炭不足に対する救済策如何」の三点を質問し、回答を掲載したもので、連載は40回を数えた大型企画である。

太吉は、「営業関係上遠慮致石炭問題大体之意見」の掲載を希望し（来-34-4）、阿部暢太郎福岡日日新聞経済部長よりは、なるべく早く掲載すること、そして「天下万人ノ必ズハ耳ヲ傾クル処」と背中を押されている²⁰。太吉の記事は1月10日に掲載²¹され、①と②には言及がない。太吉は③につ

16 以下の内容は、特に断らない限り、原口大輔「冷水鉄道敷設問題と貴族院議員・麻生太吉」（『エネルギー史研究 ― 石炭を中心として―』第37号、2022年）による。

17 原口大輔「麻生太吉の定宿」（『九州大学附属図書館付設記録資料館ニューズレター』第18号、2024年）。

18 諸原真樹「麻生鶴十郎に関する資料について ―米国学を中心に―」（麻生グループ150周年プロジェクト委員会編『麻生百五十年史』（株式会社麻生、2023年））も参照のこと。

19 麻生太吉翁伝刊行会『麻生太吉翁伝』（同会、1935年）、160頁。

いて、石炭不足に対して、借区を整理し、なるべく石炭を全部産出すること、それには国家および公共団体の支援が必要なこと、さらに石炭を効率的に燃料として使用できるよう研究することを主張した。掲載直後、太吉は阿部に宛てて、「如何セン営業之關係上我田引水的之誤解ヲ招ク恐」を氣にする一方、先に掲載された「大家」の記事の内容には憂慮を示していた（来-34-13）。当該期の太吉の石炭産業の認識を知るうえで、この連載は重要であろう。

【付記】

本稿は、(1) および (2) の 5～7 を原口が、(2) の 1～4 を田代が執筆し、原口が全体の取りまとめを行った。

【凡例】

- ・本目録は「麻生家文書」に所収される発信原稿のうち、大正8年から大正9年の簿冊6点の細目録である。
- ・本目録は、発信原稿の細目録として、簿冊ごとに記された発信控の年月日、差出人、宛先、内容の概要を採録した。
- ・細目録作成の便宜上、発信控ごとに仮番号を付している。
- ・本目録は、田代恵悟（九州大学大学院人文科学府）が作成し、原口大輔（九州大学附属図書館付設記録資料館）が取りまとめた。

【表1】発信原稿リスト（2025年6月時点）

年	史料番号	表題	年	史料番号	表題
明治33年	M33-25	明治三十三年 文書原稿	大正12年	秋-1	大正十二年 発信原稿
明治34年	M34-17	明治三拾四年 文書原稿		議會6(1)-3	大正十二年三月上京中 発信原稿
	第15議會(1)-22	上京中 文書原稿	大正13年	収-1	大正十三年 発信原稿
明治35年	M35B-14	明治卅五年 文書原稿	大正14年	冬-1	大正十四年 発信原稿
	議會7(2)-17	三十四年一月廿五日起 第十五議會中第十六議會中 文書原稿	大正15年	蔵-58	大正十五年 発信原稿
明治36年	は-1	明治三十六年 文書原稿	昭和2年	は-49	昭和二年 発信原稿
	き-5	明治三十六年 文書原稿 第貳号	昭和3年	ぬ-31	昭和三年 発信原稿
明治38年	な-23	明治三十八年 文書原稿	昭和4年	へ-51	昭和四年 発信原稿
明治39年	ひ-1	明治三十九年前期 発送文書控		ま-39	昭和四年昭和六年 発信控
	ひ-2	明治三十九年後期 発送文書控		称-32-1	昭和四年八月起 発信控
	ひ-3	明治三十九年九月改 発信文書控		称-32-2	昭和四年 発翰控 白杵
明治41年	え-4	明治四十一年一月 文書原稿 麻生本家		称-32-3	〔発信控〕
	え-39	明治四十一年八月起 文書原稿 麻生本家	昭和5年	称-32-3	〔発信控〕
明治42年	え-3	明治四十二年 文書原稿 麻生本家	昭和6年	ま-39	昭和四年昭和六年 発信控
明治43年	本-7	明治四十三年 文書原稿 麻生本家		ま-40	昭和六年 発信原稿
明治44年	M44-11	明治四十四年度 文書原稿 麻生本家	昭和7年	み-34	昭和七年 発信原稿
明治45年	M44-23	四十五年一月 文書原稿		露-6	昭和七年十一月起 発信控
	くA-20	明治四十五年度 文書原稿 麻生本家	昭和8年	露-6	昭和七年十一月起 発信控
大正3年	ふ-3	大正三年一月起 文書原稿 麻生本家	昭和9年	閏-27	昭和九年 発信原稿
大正4年	ね-29	大正四年一月起 文書原稿	昭和10年	陽-2	昭和十年 発信原簿
大正5年	律-1	大正五年 文書原稿	昭和11年	雲-3	昭和十一年 発信原簿
大正6年	辰-11	大正六年 発信原稿	昭和12年	騰-21	昭和十二年 発信原簿
	辰-12	大正六年十一月 発信原稿		騰-23	昭和十二年三月十六日起 発信控簿
大正7年	辰-13	大正七年一月起 発信原稿		騰-24	昭和十二年九月四日起 発信控簿
	辰-14	大正七年三月御上京中 発信原稿		騰-28	〔発信控簿〕
大正8年	の-43	大正八年一月起 発信原稿	昭和13年	致-1	昭和十三年 発信原簿
	の-44	大正八年八月上京中 発信控		露-8	昭和十三年 発翰控
	の-45	大正八年九月十五日改 発信原稿		露-9	昭和十三年八月起 発翰控
大正9年	来-34	大正九年一月起 発信原稿	昭和14年	雨-1	昭和十四年 発信原簿
	第42回帝国議會(1)-5	大正九年議會御上京中 発信原稿		露-11	〔発翰控〕
	議會5(1)-34	第四十三會議会中 発信原稿		露-12	〔発信控〕
大正10年	暑-36	大正十年一月 発信原稿	昭和15年	露-11	〔発翰控〕
	議會5(3)-1	第四十四會議会上京中 発信原稿并印紙勘定		露-13	昭和十五年度 発信控綴
大正11年	往-2	大正十一年 発信原稿		為-1	昭和十五年 昭和十六年 昭和拾七年 発信原簿
	議會6(3)-13	大正十一年一月上京中 発信原稿	昭和16年	為-1	昭和十五年 昭和十六年 昭和拾七年 発信原簿
			昭和17年	為-1	昭和十五年 昭和十六年 昭和拾七年 発信原簿

注1：本表は、原口大輔「麻生家文書」の中の編年史料 —— 麻生本家を中心に ——（研究代表者・日比野利信「石炭資源の発見と近代政治システムの形成」平成31年度～令和5年度科学研究費助成事業基盤研究C研究成果報告書、2024年）掲載の表を元になっている。

注2：作成者・用途が明らかに麻生商店のものは除外した。

注3：本表は田代恵悟・原口大輔「麻生家文書」発信原稿細目録（1）」に掲載した表と同一である。

20 「大正9年」1月7日付麻生太吉宛阿部暢太郎書簡（「麻生家文書」書簡 T9-24）。

21 「我国の石炭問題（十） 貴族院議員麻生太吉」（『福岡日日新聞』大正9年1月10日付、9頁）。

「大正八年一月起 発信原稿」(の-43)

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
1	1	7	ー	吉原正隆様	西園寺侯爵渡欧に際し、餞別金の贈呈を代行願う	
2	1	7	ー	平野幸吉様	吉原氏へ350円を持参願う	
3	1	10	アソウタキチ	塚田秀男	御尊父様逝去お悔やみ	電報案
4	1	11	アソウタキチ	西園寺八郎	下関にて侯爵一行に晩餐差し上げたし	電報案、夜
5	1	14	ー	西野恵之助様	先日ご紹介の森田氏は九鉄に就職希望	
6	1	14	ー	鶴澤総明様	法律図書の件配慮感謝、面会でさす失礼	
7	1	14	ー	森準一郎様	法要記念品礼状	
8	1	17	ー	医学博士 高山正雄殿	医科大学長就任に際し挨拶	
9	1	17	アソウ	大分紡績株式会社	20日重役会欠席	電報案
10	1	18	ー	飯田新七様	赤松連城氏養老資金寄附金送付	
11	1	18	麻生賀一郎	大阪高等工業学校内紀年館創立事務所宛	父八郎生前申込みの寄附送付	
12	1	20	麻生本家	九州水力大分出張所御中	棚橋・上野山両氏の晩餐会は、主人上京中のため欠席	
13	1	23	麻生本家	三浦吾朗殿	2月分学資金送付	
14	1	23	麻生本家	吉川真之助殿	2月分学資金送付	
15	1	29	本家	和才誠司殿	下男紹介への尽力を願う	
16	1	29	本家	帆足勝彦殿	歳暮礼状	
17	2	2	麻生本家	木全玉置殿	仏事贈物礼状	
18	ー	ー	麻生本家	尾上清春宛	御尊父逝去お悔やみ	電報案
19	ー	ー	主人	尾上清春	御尊父様逝去お悔やみ、香料送付	
20	ー	ー	麻生	在京御主人宛	貴地「ニシザワジヨタロ」死去の知らせあり	電報案
21	2	8	ー	三浦トモ宛	御母様逝去お悔やみ、亡夫1周忌記念品礼状	
22	2	12	本家	明治屋支店御中	7日出荷案内の品物代金送付	
23	2	12	麻生太吉執事	大阪毎日新聞社御中	1月2日掲載広告料金送付	
24	2	15	ア	在京店主宛	下関市長父死去通知、香料額伺い	電報案
25	2	20	ア	吉浦宛	金30円送れ、義之介服喪のため代理会葬せよ	電報案
26	2	20	アソヲタキチ	白石御家族宛	白石氏逝去お悔やみ	電報案
27	2	20	アソヲ	カノライツコ	夏子の加納様見舞いは太郎風邪のため中止、見舞い来るよう依頼	電報案
28	2	21	麻生	吉浦宛	太郎病状報告、冷水鉄道一件は森田・山内・赤間に依頼しさらに特別委員の方は宮田氏に依頼済、島屋払いは義之介分と共にそのまま可、石炭販売契約は野見山上京不明につきお含み置き願う	
29	2	21	アソウ	安川敬一郎宛	家族病気のためしばらく上京見合わせ	電報案
30	2	21	タロ	在京義之介氏	出炭場所毎の石炭販売額を指示、本年鉄道院以外の販売謝絶のため突然の数量減少は迷惑	電報案、夕九時
31	2	23	アソウ	吉浦宛	太郎病気のため上京不可能、不都合なきよう相談願う	電報案、午前九時
32	2	24	麻生太郎	中垣直人宛	イギリス出張に際し餞別金贈呈	
33	2	24	アソウ	加納イツ子	加納氏お変わりなく安心、病名不確定で多少長引くも心配なし	電報案
34	2	24	夏子	麻生太七郎	熱高きも心配なし	電報案
35	2	25	本家	栄屋旅館宛	太郎見舞いの菓子贈呈礼状	
36	2	25	麻生	吉浦宛	鉄道法案特別委員病気につき辞任希望、宮田氏に相談願う	電報案、午後四時
37	2	27	本家	加納子爵宛カ	加納様病氣重篤見舞い	電報案、加納イツ子からの病氣重篤通知への応答
38	2	27	夏子様	後藤ハル子、野田ヤエ、武田ナカ、阿野クニ	父上容態悪化と太郎大患のため行けず、皆様の参上を願う	電報案
39	2	27	ー	上田氏	加納様容体悪化、尽力あれ	電報案
40	2	27	大奥様	加納イツ子様宛	子爵加納様逝去お悔やみ	電報案、午前十一時の死去通知への応答
41	2	27	太右衛門様	加納イツ子様宛	子爵加納様逝去お悔やみ	電報案、午前十一時の死去通知への応答
42	2	27	夏子様	加納イツ子様宛	父上様逝去お悔やみ、ご自愛祈る	電報案、午前十一時の死去通知への応答
43	2	27	太賀吉様外三人連名	加納イツ子様宛	御祖父様逝去お悔やみ	電報案、午前十一時の死去通知への応答
44	2	27	賀一郎様	加納イツ子様宛	子爵加納様逝去お悔やみ	電報案、午前十一時の死去通知への応答
45	3	2	アソウ	今井三郎	後藤寺飯塚間停電のため坑内排水困難、手配願う	電報案、午前六時四十五分発信
46	3	2	アソウ	村上巧児	後藤寺飯塚間停電は事業上差支え、手配願う	電報案、午前六時四十分発信
47	3	2	アソ	野見山米吉	容態変化につき、加納家には秘密に至急帰れ	電報案、十時
48	3	8	アソウタキチ	三鳥通陽	三鳥子爵逝去お悔やみ	電報案、朝
49	3	11	ー	清水壮左久様	太郎死去に至るまでの経過報告	
50	3	14	ー	松本健次郎様、貝島栄四郎様、伊藤伝右衛門様、堀三太郎様	太郎死去お悔やみに対する礼状	
51	3	14	ー	大島直道様	太郎死去に至るまでの経過報告	
52	3	14	アソウタキチ	宮田書記官	旭日章拝受恐縮に堪えず	電報案
53	3	16	ー	熊澤勘太郎殿	三菱会社辞任、二瀬炭坑就職に際し挨拶	
54	3	16	ー	奥田竹松殿	御店組織変更、専務取締役就任に際し挨拶	
55	3	11	ー	吉岡常松殿	配車掛長・貨物掛長就任に際し挨拶	
56	3	18	ー	宮田光雄様	旭日小綬章下賜への対応を報告、太郎死去の件につき御礼	
57	3	18	アソウタキチ	長岐繁	御子息様逝去お悔やみ	電報案

「麻生家文書」発信原稿細目録（2）

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
58	3	24	－	武田三郎、藤田次吉、阿野国子、有吉三郎、加納鑑子、筋田可杜、後藤治子、佐伯梅治、野田勢次郎、吉川真之助、柏木勘八郎、柏木純一	徳乗院三七日法要返礼品贈呈	
59	－	－	麻生	中野昇宛、伊藤金次宛	徳乗院三七日法要返礼品贈呈	
60	3	24	ノミヤマヨネキチ	鶴澤 ^(ママ) 聡 明	上告維持、よろしくお頼み申す	電報案
61	3	25	－	中尾敬太郎殿	会葬参列および戒名拝受御礼	
62	3	25	－	磯山彦吉殿	本家使用人候補者推薦依頼	
63	3	27	－	星野礼助殿	産婦人科にかかる委任状・医証受領	
64	3	27	アソウタキチ	窪田四郎	不慮の災難見舞い	電報案
65	3	25	－	後藤寺警察署長警部 肥塚岩太郎殿	新庁舎落成式欠席	
66	3	25	－	福岡県知事 谷口留五郎殿	済生会福岡治療所落成式欠席	
67	3	25	－	秋田鉱山専門学校長 横堀治三郎殿	第6回卒業証書授与式欠席	
68	3	25	－	田中耕三殿	九州鉄道管理局辞職に際し挨拶	
69	3	25	－	江口定條様御内室様	御主人様洋行中の無事を祈念	
70	－	－	－	真鍋敏殿	幸袋工作所辞職に際し挨拶	
71	4	2	－	星野礼助殿	戸籍謄本送付	
72	4	2	アソウ	根津一	上京まだ未定	電報案
73	4	2	アソウタキチ	平田学	御尊母様逝去お悔やみ	電報案
74	4	アソウタキチ	平岡浩	御尊父様逝去お悔やみ	電報案	
75	4	4	－	多田作兵衛殿	記念会発会式欠席失礼、寄付金送付	
76	4	4	－	平野幸吉殿	政友会本部へ1000円を持参願う	
77	4	4	－	仙波太郎様	退職・帰郷に際し挨拶	
78	4	4	－	久世庸夫殿	福岡市長就任に際し挨拶	
79	4	5	－	平田学殿	御尊母様逝去お悔やみ、香料送付	
80	4	4	－	三浦修治殿	九州出張時面会できず失礼、記事広告体裁指示	
81	4	5	－	井手佐三郎殿	東京転居に際して挨拶	
82	－	－	－	両筑軌道会社御中	貴社乗車券受領、前乗車券返却	
83	4	5	アソウタキチ	床次竹二郎	御令室様逝去お悔やみ	電報案、午後一時
84	4	5	アソウ	平野幸吉	床次氏ご不幸につきご霊前として500円頼む	電報案、午後一時
85	4	5	吉浦	小川様	福岡氏持参分の目録遺漏、および家賃分重複の処置照会	
86	4	6	－	星野礼助殿	証人通知（麻生太七、麻生義之介）	
87	4	7	－	和田豊治様	別府で会談願う	訂正多数
88	4	7	－	平野幸吉宛	間違いなし、500円	電報案、午前九時
89	4	7	－	平野幸吉殿	支払い依頼の件、預け金では不足のため不足額の記録を願う	
90	4	7	－	佐伯梅治殿	仏事返礼贈品代金の支払い代行を願う	
91	4	8	小川	福岡郵便局長殿	送付の電話使用料納入告知書の番号は名義変更・移転済につき返送	
92	4	9	－	入沢京太郎殿	御尊父様逝去お悔やみ、香料送付	
93	4	10	－	平野幸吉殿	床次氏への香典にかかる回答遅延失礼、加納家五十日祭霊前へ菓子を持参願う	
94	4	11	執事名	星野礼助殿	太七郎分家後の戸籍謄本送付	
95	4	12	－	執行長 今里游玄殿	明好上人17回忌法要供物送付	
96	4	13	－	芹沢政衛殿	八幡中学校長への転任に際し挨拶	
97	4	13	－	寄川藤三郎殿	中村組退社に際し挨拶	
98	4	14	－	武田三郎様	太郎遺産を長男太賀吉に相続させる親族会議決議書類に捺印願う	
99	4	14	－	大津道雄殿	下関土木出張所への転勤に際し挨拶	
100	4	14	－	星野礼助殿	フヨ分家後の戸籍謄本送付	
101	4	16	アソウタキチ	加納鑑子	五十日祭に際し還拝す	電報案
102	4	16	アソウタキチ	加納鑑子	久憲様婚約祝辞	電報案
103	4	17	アソウタキチ	池田直佐	御令嬢逝去お悔やみ	電報案
104	4	18	－	平野幸吉殿	目録受領、1000円送付につき受取願う	
105	4	19	アソウタキチ	川越壮介	沖縄県知事への栄転祝辞	電報案
106	－	－	アソウタキチ	湯地幸平	福井県知事への栄転祝辞	電報案
107	－	－	アソウタキチ	井上孝哉	神奈川県知事への栄転祝辞	電報案
108	－	－	アソウタキチ	馬渡俊雄	愛媛県知事への栄転祝辞	電報案
109	－	－	アソウタキチ	佐竹義文	香川県知事への転任祝辞	電報案
110	－	－	アソウタキチ	長野幹	山梨県知事への転任祝辞	電報案
111	－	－	アソウタキチ	谷口留五郎	多年のご懇情感謝、今回のご勇退甚だ遺憾	電報案
112	－	－	アソウタキチ	安河内麻吉	福岡県知事への栄転祝辞	電報案
113	4	17	－	庄野金十郎様	家督相続にかかる訴訟問題は貴紙に掲載なきよう依頼	
114	4	17	－	三隅忠雄様	同上	
115	4	21	アソウタキチ	山内確三郎	民事局長への昇進祝辞	電報案
116	4	21	アソウタキチ	大島直道	神奈川県内務部長への栄転祝辞	電報案
117	4	21	アソウタキチ	山岡国利	兵庫県警察部長への栄転祝辞	電報案
118	4	21	アソウタキチ	長延連	山口県内務部長への栄転祝辞	電報案
119	4	21	アソウタキチ	間野一	「ゴエイシン」を祝す	電報案
120	4	22	アソウ	藤沢良吉	道の事電報拝謝	電報案
121	4	26	アソウタキチ	高橋コウ	「高橋シゲズミ」君逝去お悔やみ	電報案
122	4	26	－	高橋こう様	会葬欠席失礼、香料送付	
123	4	27	アソウタキチ	大分県教育会長	盲啞学校校舎落成祝辞	電報案
124	4	1	－	和田豊治様	別府温泉鉄道株申込書郵送、温泉地帯発展のため関係者への勧誘も願う、上京は来月上旬の予定	欄外上部に追記あり

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
125	4	27	－	堀三太郎様、伊藤伝右衛門様、貝島栄四郎様、岩崎久米吉様、三好徳松様、中野昇様	東亜同文書院寄付金の金額等について安川氏と相談、書類送付	
126	－	－	－	西牟田豊民殿	鉱務署への転任、石炭坑爆発予防調査所勤務に際し挨拶	
127	4	27	アソウ	野見山米吉	「アマサキ」交渉の詳細は確認中ながら約定されたい	電報案、午後
128	4	22	－	黒田侯爵家々令 山中立木殿	故侯爵奥方様法要記念品礼状	日付に修正跡あり
129	4	22	執事名	麻生清殿	主人面談困難につき書面で通知願う	日付に修正跡あり
130	4	22	賀一郎	大阪高等工業学校会計係殿	御校機械科学生奨学資金に異議なし	日付に修正跡あり
131	4	22	－	井上侯爵家、森礼三郎、貝島栄一、貝島太市	故太郎四十九日法要の礼状	
132	4	22	－	平尾喜三郎様、田中清文様、三木与吉郎様、岡本栄吉様	議会開会中の厚誼礼状	日付に修正跡あり
133	4	22	－	木村正殿	ご送付の寛政重修家譜は不要につき返送	
134	4	22	－	世界新聞社御中	創刊祝儀5円送付	
135	4	22	－	実業之東洋発行所御中	発刊祝儀5円送付	
136	4	29	－	斎藤行三殿	本県警察部長就任に際し挨拶	
137	4	28	アソ	野見山米吉	ご尽力謝す、いつ出発か	電報案、夜
138	4	1	ア	野見山米吉	上京日時通知、都合次第で大阪で面会希望	電報案、朝
139	4	29	－	谷口留五郎殿	本県知事辞任に際し挨拶	
140	4	29	－	河原林櫻一郎様	太郎写真送付	
141	4	29	－	赤松連城様	面会・香料贈呈礼状	
142	5	1	アソウタキチ	筑豊鉱山学校長 山田邦彦	入学式の盛典を祝す	電報案
143	5	2	アソウタキチ	藤山雷太	園遊会招待礼状、会は欠席	電報案
144	5	3	－	大分日々新聞社 衛藤又三郎殿	主人申付けにより1000円送付	
145	5	3	アソウタキチ	梅野駿二	御令息逝去お悔やみ	電報案
146	5	3	アソウタキチ	石川島造船所社長 渡辺嘉一	分工場開業祝辞	電報案
147	5	3	ヨ	在京 御主人様	宮田氏の使いとして服部氏が歳費・旅費・勲章持参	電報案
148	5	5	－	在京 御主人様	井戸博士逝去	電報案
149	5	8	－	永田仲子様、永田喜代子様	故太郎形見別紙の通り贈呈	別紙の控付属
150	5	10	－	原田鎮治様	三菱会社退職に際し挨拶	
151	5	10	－	笹山恒太郎殿	東京本店への榮転に際し挨拶	
152	5	9	－	元田肇様	太郎死去時の香料贈呈礼状	
153	5	11	－	不破彦磨様、不破熊雄様	法要記念品礼状	
154	5	11	－	長岐繁様	法要記念品礼状	
155	5	11	－	伊東喜八郎殿	本県内務部長就任に際し挨拶	
156	5	13	－	中沢勇雄殿	取締役会開催にあたり、第2～7号議案は異議なし。第1号議案は交渉の結果、入港銭問題は取り消すものの、組合補助金負担は未決定につき関係謝絶を希望	
157	5	13	－	宮田光雄様	議会控所函に置き忘れた議会書類の回送依頼	
158	5	13	－	吉村城殿	筑豊石炭鉱業組合総長後任として、松本健次郎氏と交渉願う	
159	5	12	－	中野丈太郎様	別府土地の件は書類のみでは返事しがたいため、別府にて面会願う	
160	5	13	－	和田豊治様	戸畑埋立工事・交渉の進捗報告、漁業組合との補償問題は関係を断つ外なし	
161	5	13	アソウタキチ	益田孝	小田原大火見舞い	電報案
162	5	13	アソウタキチ	榎本武憲	小田原大火見舞い	電報案
163	5	13	－	長野善五郎様	訪問延引失礼、病氣見舞い	
164	5	14	アソウタキチ	全国酒造組合連合会長 小林作五郎	盛会を祝す	電報案
165	5	14	－	中村雄蔵殿	三井電鉄株の件取り調べ中	
166	－	－	－	日本海戦記念会長 安河内麻吉殿	寄付金200円送付	
167	5	16	－	宮田光雄様	鉄道乗車券受領、上京は当分見合わせる予定	
168	5	16	－	東洋製鉄会社社長 郷誠之助殿	溶鉱炉工事竣成・操業開始祝辞	
169	5	17	－	水野精一殿	中村組退社、帝国鑄物会社支配人就任に際し挨拶	
170	5	16	－	河内卯兵衛様	折尾直方間電車の許可は地方発展のため慶賀、お申越しの件は希望なし	
171	5	17	－	大塚鳳雛様	ご揮毫の達磨贈呈礼状	
172	5	18	アソウタキチ	田島勝太郎	御令息様逝去お悔やみ	電報案
173	5	18	－	高木繁三郎様	土斐崎氏の件の取次は既述の通り謝絶	
174	5	18	－	西野恵之助様	溶鉱炉工事竣成・操業開始と好成績を祝す	
175	5	18	－	松本健次郎様	名古屋地先埋立の費用に関する和田の動向を報告	
176	5	19	－	野田通信大臣殿	大隈町電話架設、後藤寺飯塚間鉄道敷設の許可斡旋をそれぞれ願う	
177	5	19	－	佐伯梅治殿	丸山氏を紹介、同氏と隔意なき意思疎通を願う	
178	5	19	アソウ	田中徳次郎	電報拝見安心、配慮謝す	電報案
179	5	20	アソウタキチ	松本泰蔵	21日ご案内の件は欠席	電報案
180	5	23	アソウタキチ	筑前参宮鉄道会社専務取締役 河内卯兵衛	開業祝辞	電報案
181	5	23	アソウ	東洋製鉄会社	24日重役会欠席	電報案
182	5	25	アソウタキチ	明治専門学校 的場中	開校10周年記念の盛典を祝す	電報案
183	5	26	アソウタキチ	山中太郎	御尊父様逝去お悔やみ	電報案
184	5	26	アソ	東洋製鉄株式会社	委任状送付	電報案
185	5	27	アソウタキチ	日本海々戦会長 安河内麻吉	盛会を祝す	電報案
186	5	27	－	鈴木釜次郎殿	鉄道院休職に際し挨拶	
187	5	27	－	男爵 藤村義朗様、田中隆様	大正日々新聞社発起人への参加は事業経験なきため辞退	
188	5	27	－	加藤喜三殿	会社組織変更後従前どりの経営困難、特に経営事業は太郎任せのため後始末に苦心	

「麻生家文書」発信原稿細目録（2）

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
189	5	30	－	市吉徹夫殿	神戸支店への栄転に際し挨拶	
190	5	31	－	安川敬一郎様	病氣見舞い礼状、病状報告	
191	5	31	－	九州電灯鉄道株式会社御中	貴社乗車券受領、前乗車券返却	
192	6	1	アソウタキチ	大分新聞社長 大津淳三	30年記念祝辞	電報案
193	6	2	－	高橋千代様	法要記念品礼状	
194	6	2	－	宮田光雄様	御成年式記念杯・議会書類送付礼状	
195	6	4	－	子爵 青木信光様	丸山氏の件は大阪出張所より別紙のとおり回答あり、別府千葉氏邸への引湯は湯温低下のため困難	
196	6	4	アソウタキチ	与倉淳雄	御尊父様逝去お悔やみ	電報案
197	6	4	－	与倉淳雄様	御尊父様逝去お悔やみ、香料送付	
198	6	4	アソウタキチ	内務省下関土木出張所長 安達辰次郎	門司港修築起工式の盛典を祝す	電報案、夜
199	6	4	－	門司市長 高岡直吉	門司港修築起工式の盛典を祝す	電報案、夜
200	6	5	－	西野恵之助様	築港会社との交渉にかかる重役会決議の内容通知は和田氏より到来せず	
201	6	5	アソウタキチ	加納鑑子	百日祭に際し遥拝す	電報案
202	6	6	アソウ	野田卯太郎	社会問題に関する床次内相の招待は病氣のため欠席	電報案、午前
203	6	6	アソウタキチ	床次竹二郎	病氣のため欠席	電報案、午前
204	6	6	アソウタキチ	徳大寺公弘	公爵御薨去お悔やみ	電報案
205	6	8	－	中沢勇雄殿	東鉄問題は過日の打合せの主旨をもって決議したか報告願う	
206	6	8	－	三宅速様	御来診後の病状報告	日付に修正跡あり
207	6	8	執事名	山本吉之殿	病氣全快次第、来状の件取り調べる	
208	6	8	－	桜木亮三様	御尊母様逝去お悔やみ、香料送付	
209	6	8	－	芹沢政衛様	御令嗣様逝去お悔やみ、香料送付	
210	6	9	－	安川敬一郎様	病状報告	
211	6	9	アソウ	赤十字社福岡支部	11日常議員会欠席	電報案
212	6	10	－	徳大寺家執事	公爵御薨去お悔やみ、香料送付	
213	6	10	－	白川玖城様	台湾総督府医院医長・医学専門学校教授就任祝辞	
214	6	10	－	山田駒之輔様	病状報告	
215	6	11	－	藤本閑作様	筑豊電気軌道会社の経営困難を見込む	
216	－	－	－	松本健次郎様	東鉄会社の漁業組合との交渉は報償金折半で解決と和田氏に申し入れ、同氏から確答あれば報告願う。洞海湾の件土木局長への説明好都合	
217	6	11	－	和田豊治様	築港会社に対する交渉の件、漁業組合への報償金は折半3000円で解決するほかなし	「書留」とあり
218	6	11	－	中野岩太様	法要記念品礼状	
219	6	11	－	大分紡績会社 横溝専務取締役殿	16日株主総会・重役会欠席	
220	6	12	－	津久井誠一郎殿	本店石炭部への栄転に際し挨拶	
221	6	14	アソウタキチ	三村君平	御令息様逝去お悔やみ	電報案
222	6	14	－	三村君平様	御令息様逝去お悔やみ、香料送付	
223	6	14	アソウタキチ	多勢延太郎	多勢貴族院議員逝去お悔やみ	電報案
224	6	15	－	大塚鳳雛様	御北堂様逝去お悔やみ、香料送付	
225	6	15	－	石川島造船所若松分工場御中	開業式記念品贈呈礼状	
226	6	16	－	上野山重太夫様	小林組解約申出の件は棚橋専務より事情聞き取り願う、井上秀実氏採用の件	
227	6	17	－	室田義文様	病氣見舞い礼状	
228	－	－	－	藤田治吉様、中野昇様、梅谷清一様、棚橋琢之助様、柏木勘八郎様、有田広様、井原源門様、宇佐美寛爾様、佐伯梅治様、松居織工場御中、金子国雄様、花村久兵衛様、麻生茂様	病氣回復につき粗品贈呈	
229	6	17	－	安川清三郎様、野田勇様、帆足勝彦様	病氣回復報告	
230	6	17	－	宮田光雄様	勲記送付御礼、病氣回復報告、海軍演習時別荘にお立ち寄り願う	
231	6	18	－	博済生命保険会社 川原茂輔殿	相談役就任謝絶	
232	6	18	アソウタキチ	小野田元辰	小野田元熙君逝去お悔やみ	電報案
233	6	18	アソウタキチ	益田男爵	病氣回復報告	電報案
234	6	18	－	江藤哲蔵様	病氣見舞いの品贈呈	
235	6	19	－	吉川雄輔様	製鉄所辞職に際し挨拶	
236	6	20	－	野田通信大臣殿	世間に炭坑業経営に対する誤解がある中で、横山襄による貯蓄奨励講話を評価。上京予定の報告	
237	6	23	－	安川敬一郎様	明石町買物代513円50銭送付	
238	6	25	アソウタキチ	江藤リン子	江藤哲蔵君逝去お悔やみ	電報案
239	6	25	アソウ	平野幸吉	江藤哲蔵氏宅へ香典100円を持参願う	電報案
240	7	1	アソウタキチ	渡辺仁	工学博士渡辺渡君薨去お悔やみ	電報案
241	7	1	－	渡辺仁様	御尊父様薨去お悔やみ、香料送付	
242	7	5	－	二神駿吉殿	本店石炭部副部長就任に際し挨拶	
243	7	4	－	通信次官 秦豊助殿	平和記念郵便切手贈呈礼状	
244	7	6	アソウタキチ	原総理大臣	平和成立祝賀園遊会招待御礼、病氣のため欠席	電報案
245	7	12	－	瓜生議様	忌明記念品礼状	
246	7	14	－	総長 松本健次郎殿	日本工業倶楽部労働問題調査委員長中島久万吉氏からの別紙を送付、常議員会にて審議願う	
247	7	16	－	柴田治三様	御令嬢様逝去お悔やみ	
248	7	19	アソウタキチ	板垣守正	伯爵薨去お悔やみ	電報案
249	7	19	アソウタキチ	鳥取市戎座劇場政友会中国四国大会委員長 西谷金蔵	ご盛会を祝す	電報案
250	7	20	－	大道良太様	27日の関門連絡船上における茶話会欠席	
251	7	20	アソウタキチ	小倉歩兵第十四聯隊練兵場凱旋祝賀会事務局 安河内県知事	凱旋祝賀会欠席	電報案

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
252	7	20	－	中川友次郎殿	製鉄所次長就任に際し挨拶	
253	7	20	－	福沢桃介様	『貧富一新』贈呈礼状	
254	7	20	－	日比谷銀行 日比谷新太郎殿、福原長太郎殿	所沢商業銀行拡張・日比谷銀行開業祝辞	
255	7	20	－	宮田光雄様	福島県知事への栄転祝辞、別府来訪・土産物礼状	
256	7	20	－	男爵 東郷安様	別府来訪・土産物礼状	
257	7	20	－	岩崎久米吉様、岩崎寿喜蔵様	病氣回復報告	
258	7	21	アソウタキチ	森田庄兵衛	御北堂様逝去お悔やみ	電報案
259	7	21	アソウタキチ	赤松紹幢 ^(ママ)	老師遷化お悔やみ	電報案
260	－	－	－	野田勢次郎様	孫の教育所として地所買入希望ながら屋敷は不要、河野氏家屋買入の件は井上侯爵関係のため見合わせ	
261	7	21	－	松本健次郎様	漁業組合補償金額が和田氏より通知、これをもって中沢君を介し西野氏と交渉願う	
262	7	22	－	元田肇様	御令兄様逝去お悔やみ、香料送付	
263	7	21	－	東洋製鉄会社専務取締役 中島久万吉殿	株金払込期日変更承知	
264	－	－	アソウタキチ	松田源治	病氣見舞い礼状	電報案
265	7	26	－	堀三太郎殿	台湾製塩株式会社創立に関する書面に調印、他日相談を希望	
266	7	26	－	米井信夫様	御尊父様逝去お悔やみ、香料送付	
267	7	29	－	山内範造殿	冷水鉄道運動方針は来月の臨時集会で決定予定、株の件で上京願う	
268	8	4	－	堀口貫道様	山口県石炭鉱区は調査せねば判断できず	
269	8	4	－	本間則忠殿	文部省への栄転に際し挨拶	
270	8	5	－	堀三太郎様	御愛孫様初盆に際し菓子贈呈	
271	8	13	アソウタキチ	森田武	御尊父逝去お悔やみ	電報案
272	8	13	－	稲益一義殿	本県農会幹事任職中の厚誼礼状	
273	8	14	－	長岐繁様	初盆に際し香料贈呈	
274	－	－	アソウタキチ	洪沢栄一	16日発起人会欠席	電報案
275	8	15	アソウタキチ	大炊御門経輝	侯爵薨去お悔やみ	電報案
276	8	15	－	伊藤吉太郎様	柴田直敏翁寿碑建設寄付金送付	
277	8	15	－	日高伝太郎様	御尊父様逝去お悔やみ、香一包送付	
278	8	15	－	大島亮治殿	日華紡績会社の営業好調を祝す	
279	8	16	－	大津淳一郎様	『世界の変局と帝国の外交』贈呈礼状	
280	8	16	－	渡辺仁殿	法要記念品礼状	
281	8	20	－	森村開作	御尊父様逝去お悔やみ	電報案
282	－	－	－	柴田徳次郎殿	進藤氏と面会の件、旅程通知	
283	8	19	－	山内範造様	冷水鉄道運動委員上京を要請	
284	8	20	－	佐藤慶太郎様	別府土地の件は交渉中止、孫の病氣は回復	
285	8	20	－	川島七郎様	井上氏の九水就職は重役会通過も本人辞任申出により取消	
286	8	21	－	井上親之殿	申越しの鉱区購入希望なし	
287	9	2	－	中野金次郎様	将来の発展を見据えた洞海湾浚渫設計について起案者と打合せ、浚渫時は沿岸地主との交渉を暫時見合わせ願う	
288	9	2	－	小林新三郎殿	飯塚博多間の県道の維持監督不行届きを批判、木戸橋梁替工事中の仮設設備は自動車が通行可能となるよう要請	
289	9	2	－	横山襄様	来県・講演御礼、栃木県安蘇郡長拝命に際し挨拶	
290	9	2	－	野添慎	衆議院議員野添宗三君逝去お悔やみ	電報案
291	9	3	－	不破健次郎	御尊父逝去お悔やみ	電報案
292	9	3	－	株式会社小林組取締役社長 小林徳一郎殿	会社組織祝辞	
293	9	4	アソウ	山口恒太郎	10日までに上京	電報案、八時半
294	9	4	アソウ	木村久寿弥太	御地新聞に事実無根の記事掲載と報告	電報案、八時半
295	8	29	－	柴田徳太郎殿	野田卯太郎訪問、伊藤・堀ら一同上京のうえ打合せを希望	「東京より」とあり
296	8	31	－	村上伸雄様	26日夜着京し木村氏に面会、来月6、7日頃に再上京の予定	「直筆」とあり
297	8	31	－	瓜生長右衛門様	自動車事故見舞い、来月再上京の予定	

「大正八年八月上京中 発信控」(の-44)

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
1	8	26	－	藤森善平殿	冷水鉄道敷設請願について、期成会から伊藤・堀へ上京を依頼するよう相談	
2	8	26	アソウ	野見山米吉	「サカイザ」株買い占めの動きに対する売り止めを相談するよう指示	電報案、夜
3	8	27	－	堀口貫道様	申越しの山口県石炭鉱区の希望なし	欄外上部に「書19前」とあり
4	8	27	－	冷水越鉄道期成会々長 藤森善平殿	野田大臣も伊藤・堀の上京最得策と見込み、山内を介して至急相談願う	欄外上部に「書留10」とあり
5	8	27	－	秋田寅之介殿	護国火災保険会社発起人が保有する株式割合決定	欄外上部に「6」とあり
6	8	28	アソウタキチ	占部太平	御尊父様逝去お悔やみ	電報案、朝。欄外上部に「一、六五」とあり
7	8	28	アソウ	野見山米吉	暗号電カ	電報案、午後二時。欄外上部に「二、九二〇、4.07」とあり

「麻生家文書」発信原稿細目録（2）

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
8	8	28	アソ	藤森善平	なるべく早く手配願う、明日出発	電報案、欄外上部に「、四〇〇」とあり
9	8	28	アソ	山内範造	冷水線のこと速やかな請願が良い	電報案、欄外上部に「、五〇〇」とあり
10	8	28	－	山内範造様	野田の意向も踏まえ、引き続き、堀・伊藤の上京幹旋を希望	
11	8	29	－	和田豊治様	相談あり、面会希望	
12	8	27	ホンケ	ヨシツラカツクマ	占部氏今朝3時死去、葬儀29日	挟み込まれた電報送達紙による

「大正八年九月十五日改 発信原稿」（の-45）

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
1	9	15	－	石田馨殿	本県理事官就任に際し挨拶	
2	9	15	－	日高伝太郎殿	法要記念品礼状	
3	9	29	－	住友総本店 吉田良春	接続鉾脈を含んだ鉾区坪数を報告	電報案、午後六時。1丁に挟み込み
4	9	15	－	米井信夫殿	法要記念品礼状	
5	9	15	－	高倉順一郎様	法要記念品礼状	
6	9	19	－	元田肇様	法要記念品礼状	
7	9	20	－	二宮要様	大連炭坑医局勤務に際し挨拶、餞別贈呈	
8	9	22	アソウタキチ	山内志郎	貴族院議員山内男爵薨去お悔やみ	電報案
9	9	23	アソウタキチ	江藤甚三郎	御尊父逝去お悔やみ	電報案
10	9	23	アソウタキチ	浦田勇太郎	御母様逝去お悔やみ	電報案
11	－	－	アソウタキチ	国産奨励会長 武井守正	評議員会欠席	「(電報)」とあり
12	9	25	アソウタキチ	博多毎日新聞社	貴社5周年記念、盛典を祝す	電報案
13	9	25	－	浦田勇太郎殿	御北堂様逝去お悔やみ、香料送付	
14	9	26	アソウタキチ	清酒品評会長 小林作五郎	清酒品評会褒賞授与の盛典を祝す	電報案
15	9	27	－	山中立木殿	筑前郷友会後援金金子本年分500円送付	
16	9	27	－	柴田徳次郎殿	国士館建築費寄付金額は地方有力者一同で揃えるべき、1500円送付	
17	－	－	－	－	故白石博士奨学資金200円送付	
18	9	19	－	山内範造様	東京における鉄道院への陳情模様を報告。新規敷設は閣議決定に拠るとの答弁を引き出したこと、原総理に面会したことほか	「御自筆」とあり
19	9	19	アソウタキチ	高橋光威	御尊父様逝去お悔やみ	電報案、「(濱町ヨリ)」とあり。また、烏屋に香典持参を依頼する旨付記
20	9	29	－	和田豊治様	病氣見舞い	
21	9	29	－	貝島六太郎様	御令息栄四郎様洋行に際し餞別贈呈	
22	9	29	－	横倉英次郎様御奥様	御主人様洋行に際し餞別贈呈	
23	9	29	－	平野幸吉様	和田豊治への見舞いの菓子折を調達願う	
24	9	30	－	古市公威殿	故白石博士記念奨学資金への寄付金200円送付	
25	9	30	－	衛藤又三郎	ご奮闘叶わず遺憾	電報案、午前九時
26	10	2	アソウタキチ	三井寿太郎	三井男爵薨去お悔やみ	電報案
27	10	2	－	吉原正隆様	別府温泉廻遊鉄道出願への援助を希望	
28	10	2	－	中沢支配人殿	取締役会議議案第4号中、売却地に関する質疑送付。他の案には同意	
29	10	2	吉浦名	吉野徳市殿	免囚保護会寄付金近日送付	
30	10	2	－	藤田治吉様	御令息様婚姻祝辞	
31	10	3	－	筑豊鉾業組合幹事 伊吹政次郎殿	総長在任中の援助御礼、招待不参加につき費用補助	年次（「大正八年」）もあり
32	10	3	－	博多毎日新聞社長 三隅忠雄殿	5周年記念祝賀会欠席につき、金銭贈呈	
33	－	－	－	横溝専務取締役殿	長崎株式取引所上場の件・別府慰安所新設の件に異存なし	
34	10	11	アソウタキチ	渡辺孝	御尊父逝去お悔やみ	電報案
35	10	11	－	濱崎永三郎	御令嗣逝去お悔やみ	電報案
36	10	12	－	濱崎永三郎様	御令婦様逝去お悔やみ、香料送付	
37	10	12	－	松本健次郎様	申越しの故白石博士記念資金には200円を直接寄付済み	
38	10	12	－	赤松照輔様	法要記念品礼状	
39	10	13	－	松崎三十郎様	帰宅後電話不通の旨通知	「御直筆」とあり
40	－	－	－	柴田徳次郎殿	国士館建築費寄付金増額要請につき、都合750円を送付	
41	10	13	－	中野金次郎様	取次の者行き違い失礼、いずれ面会を願う	
42	10	16	－	飯田新七様	赤松連城氏追悼法要欠席につき、50円を寄付	
43	10	16	－	黒岩休太郎様	坑道延長の必要から坑区買入許可に配慮を求める	
44	10	16	－	成瀬達殿	貴族院提出請願書を開院前に紹介して良いか照会	
45	10	16	－	南満州鉄道株式会社々長 工学博士 野村龍太郎殿	『十年史』贈呈礼状	
46	10	16	－	星野礼助様	広島控訴一件委任状送付	
47	10	17	アソウタキチ	児玉秀雄	寺内伯爵病氣見舞い	電報案
48	10	17	－	平野幸吉殿	寺内伯爵邸へ上等葡萄酒を送付願う	
49	10	19	アソウタキチ	内閣総理大臣秘書官	23日招待応諾	電報案
50	10	19	－	相生由太郎様	10周年記念品贈呈礼状	
51	10	20	－	林有三殿	ご栽培の林檎贈呈礼状	
52	10	26	アソウタキチ	東筑中学学友会長 岡野代忠	本日の盛会を祝す	電報案

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
53	10	27	アソウ	伊藤伝右衛門	病氣回復、明日出発	電報案
54	10	27	アソウ	梅谷清一	病氣回復、明日出発	電報案
55	10	27	アソウ	鳥屋旅館	29日8時到着	電報案
56	10	28	アソウ	梅谷清一	上京見合わせ	電報案
57	10	29	－	江藤甚三郎殿	法要記念品礼状	
58	10	28	－	副地英吉殿	依頼の件につき、議会開会中以外は受け付けずとの回答ゆえ、開院後早々に提出・紹介予定	
59	10	30	－	山際太郎様	婚姻祝辞、祝儀贈呈	
60	10	30	アソウタキチ	田健次郎 ^(ママ)	台湾総督御親任祝辞	電報案
61	10	31	アソウタキチ	山際春子	御令息様御婚儀祝辞	電報案、宛先は太郎を修正
62	10	31	アソウタキチ	松永安左衛門	洋行からの無事帰国を祝す	電報案
63	10	31	－	中村照子様	「男子カ及ハさる御奮闘」に対する祝辞	
64	10	31	－	紙与呉服店殿	組織変更の際しての贈物贈呈礼状	
65	－	－	麻生代吉浦名	木村おかつ様	御息様揮毫の屏風画調筆料500円送付	
66	10	31	－	濱崎永三郎殿	法要記念品礼状	
67	10	31	－	成瀬達様	請願書提出を報告	
68	11	3	アソウタキチ	寺内寿一	伯爵薨去お悔やみ	電報案
69	11	6	アソウ	平野幸吉	寺内邸へ香典100円を持参願う	電報案
70	11	6	－	入沢京太郎様	浜町別邸は親族・店員の保養のため、用立は困難	
71	11	6	－	福島林太郎殿	申越しの名幅は買入希望なし	
72	10	28	アソウ	伊藤伝右衛門	地元の意向を受け、梅谷・棚橋・和田間の迅速な意思決定を求める	電報案
73	10	28	アソウ	梅谷清一	帰県仕方なし、地元の困難を前提に打合せ願う	電報案
74	10	28	アソウ	伊藤伝右衛門	梅谷の事情を聴取願う、「オシコミ」必要あらばすぐ出発	電報案
75	11	10	アソウタキチ	中村作次郎	開業100周年に際しての株式会社創立祝辞	電報案
76	11	7	－	中里丈太郎様	御母堂様逝去お悔やみ、香料送付	
77	11	7	アソウタキチ	大分県警察部長 桑原一郎	受難警察官忠魂碑除幕式の盛典を祝す	電報案
78	11	9	アソウタキチ	呉鎮守府司令長官 男爵 加藤定吉	戦艦長門命名式の盛典を祝す	電報案
79	11	9	－	高島京江殿	三菱会社退職、貝島鉱業株式会社入社に際し挨拶	
80	－	－	麻生留守宅	大分紡績株式会社	上京中につき、今日重役会欠席	電報案
81	－	－	アソ	御主人様	3時に送った	電報案
82	11	15	－	大野仁様	法要記念品礼状	
83	11	21	アソウタキチ	細谷義一	御尊父様逝去お悔やみ	電報案
84	－	21	－	大正日々新聞社	発刊祝辞	電報案
85	11	27	－	松尾広吉様	在京中の厚誼礼状	
86	11	30	アソウタキチ	古賀庸蔵	御令閨逝去お悔やみ	電報案
87	11	30	アソウタキチ	岩村兼言	貴族院議員岩村兼善君逝去お悔やみ	電報案
88	11	19	－	麻生親八様	別府温泉廻遊鉄道合併方針、発電所増強方針と火力派への不満、大分県下植林計画の進捗について	「直筆」とあり
89	12	4	－	成瀬達殿	別紙軍人恩給に関する請願書紹介差出	
90	12	4	－	久留米市長 石津和風殿	別紙請願書調査のうえで、本県議員の責任として提出のつもり	
91	12	4	－	原爾郎殿	開院につき請願書提出	
92	12	11	アソウタキチ	犬塚新一	御尊父犬塚勝太郎様逝去お悔やみ	電報案
93	12	11	－	麻生親八様	発電所増強・植林事業は希望通り進行し慶賀、温鉄土地買収の件	
94	12	11	－	森田正路様、山内範造様	冷水線好都合、いずれ福岡にて面会希望	
95	12	12	－	副地英吉殿	京都・築上両郡文官恩給者に関する請願は無論紹介につき、書類郵送依頼	
96	12	12	－	棚橋琢之助殿	小林森吉発室田氏宛書簡回送	
97	12	12	－	貝島百吉殿	大正鉱業所在勤中の礼状	
98	12	12	－	中村彦介様	三井電軌の合併は九水の意向ではなく、支配人は現状の経営得策との意向、ただし三井電軌大株主が九水合併を希望する場合は支援	
99	12	12	－	柏木商治殿	病氣見舞い	
100	12	13	－	安川敬一郎様	面会日程調整	
101	12	14	－	男爵 渋沢栄一様	協調会寄付金額安川・貝島と協定終了、申込書送付	
102	12	14	－	安河内麻吉様	協調会寄付金額安川・貝島と協定終了、申込書渋沢に送付	
103	12	14	－	大村彦太郎様	大村保全合名会社創立祝辞	
104	12	16	アソウタキチ	神田梅吉	御令閨逝去お悔やみ	電報案
105	12	16	－	藤瀬政次郎様	御尊母様逝去お悔やみ、香料送付	
106	12	19	－	岸田牛五郎様	八木山峠県道の現況と修繕方法を提案、県会議員との協議や実地踏査・速成を求める	
107	12	20	－	宮田光雄様	御栄転に際し粗品贈呈	
108	12	20	－	九水出張所	別府土地買収拠出金額収書送付	
109	－	－	アソウタキチ	北方騎兵第十二聯隊長 五歩一貞次郎	軍旗拝受記念祭の盛典を祝す	電報案
110	12	20	－	池田純亮殿	弁護士事務所開業祝辞	
111	12	20	－	井上侯爵家執事	蜜柑贈呈礼状	
112	12	20	－	篠崎昇之助殿	戦後欧米視察出発に際し饌別贈呈	
113	12	27	－	藤田政輔殿	藤田合名会社創立祝辞	
114	12	29	－	平野幸吉殿	大礼服ズボン内検印回送依頼	
115	12	30	アソウタキチ	伯爵 立花寛治	御尊母様逝去お悔やみ	電報案
116	12	30	アソウタキチ	宮崎勇	御令閨様逝去お悔やみ	電報案
117	－	－	アソウ	佐伯梅治	1万円納め取り決め頼む	電報案
118	12	30	－	佐伯梅治殿	1万円を本願寺に納めたうえで、坪数・石碑文面等打合せ通りに依頼	

「麻生家文書」発信原稿細目録（2）

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
119	12	30	－	上野山重太夫様	和田氏書面中の字句について	
120	12	31	アソウ	武田三郎	ご配慮謝す	電報案
121	12	31	アソウ	佐伯梅治	株どれほど売却できたか	電報案

「大正九年一月起 発信原稿」（来-34）

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
1	1	2	－	棚橋琢之助様	温泉鉄道にかかる別府町態度、冷水鉄道ルートや九鉄との競争、東鉄への技師の紹介について	
2	1	4	アソウタキチ	多田庫彦	御尊父様逝去お悔やみ	電報案
3	1	4	－	松崎三十郎様	別府土地交渉の件いつ会合となるか	電報案、午後
4	1	5	－	阿部暢太郎様	石炭に関する記事は、大体の問題についての意見のみ掲載願う	
5	1	7	－	中島久万吉	監査役三村君逝去お悔やみ	電報案
6	1	7	アソウタキチ	三村稱平	御尊父様逝去お悔やみ	電報案
7	1	7	アソウ	平野幸吉	三村氏宅へ香典として50円を持参願う	電報案
8	1	8	アソウタキチ	谷保馬	御尊母逝去お悔やみ	電報案
9	1	8	アソウ	麻生太賀吉	解熱の報告	電報案
10	1	8	アソウ	松崎三十郎	明日在宅	電報案
11	1	9	－	松本健次郎様	安田家保有若松築港会社株式売却後の買受先を相談、三井に及ぶことはない予想	
12	1	14	アソウタキチ	第十八師団 高山公通	盛典を祝す	電報案、朝
13	1	10	－	阿部暢太郎様	掲載された石炭に関する論説への反駁	
14	1	11	アソウタキチ	西園寺八郎	令夫人様逝去お悔やみ	電報案、朝
15	1	11	アソウタキチ	西園寺侯爵	若御夫人様逝去お悔やみ	電報案、朝
16	1	11	アソウ	平野幸吉	西園寺八郎邸へ香典として300円を持参願う	電報案
17	1	12	アソウ	加納鑑子	20日後でなければ出発不可ゆえ、一同帰県願う	電報案、午前九時十五分
18	1	12	アソウ	大分紡績会社 横溝万吉	本日の重役会欠席	電報案、午前九時十五分
19	1	12	アソウタキチ	ウリウスウ	御尊父様逝去お悔やみ	電報案、午後六時
20	1	12	アソウ	ヒラノコウキチ	瓜生氏邸へ香典として20円を持参願う	電報案、午後六時
21	1	13	－	佐伯梅治殿	墓碑地所実地踏査について指示2点	
22	1	14	－	佐伯梅治	2間四方で良し。1周忌に間に合うよう頼む	電報案
23	1	15	－	麻生親八様	温泉鉄道敷設につき別府町側に反対惹起、発起者との間で18日会合の予定	
24	1	15	－	片岡直方様	御来訪礼状	
25	1	16	－	村上巧児様	新年宴会欠席、会費は負担	
26	1	18	－	工学博士 子爵 井上匡四郎殿	撫順炭鉱長事務嘱託就任に際し挨拶	
27	1	18	－	菅原伝様	御来訪礼状	
28	1	21	アソウタキチ	高野山金剛峰寺	蜜門大僧正遷化お悔やみ	電報案
29	1	25	－	子爵 牧野忠篤	令夫人様逝去お悔やみ	電報案
30	1	26	－	子爵 牧野忠篤様	令夫人様逝去お悔やみ、香料送付	
31	1	26	－	野田勇様	小林組顧問就任に際し挨拶	
32	1	26	－	鶴澤総明様	『九州事件弁論集』贈呈礼状	
33	1	26	－	上喜代彦様	法要記念品礼状	
34	1	27	－	高野山金剛峰寺執事	蜜門大僧正遷化に際し、香料送付	
35	1	26	－	中野金次郎様	法要記念品礼状	
36	1	26	－	茂田艶	典太悪い、君の帰還を待つために寝ず困る	電報案、午後十時
37	1	27	－	茂田艶	看護婦送った、帰還頼む	電報案、正午。「右第二分打電見合ス」とあり
38	1	27	アソ	茂田艶	ご容態いかがか、典太解熱	電報案、午後五時
39	1	29	アソウ	サイキウメジ	今日出発も降車不可、乗り込み頼む	電報案、前九時
40	1	29	アソウ	鳥屋旅館	今日出発、明日夜到着	電報案、前九時
41	1	30	－	福日、九州日報、門司新報	新聞発送先の変更を依頼	
42	1	31	－	御主人様	典太様、辰子様元氣よろし	電報案
43	2	1	－	御主人様	貝島定二氏昨夜死去	電報案
44	2	3	－	大石タミ様	法要記念品礼状	
45	2	9	－	武田元彦様、多田庫彦様各通	法要記念品礼状	
46	2	10	－	三越呉服店	「ジョトウネゴヤ」すぐ送れ	電報案
47	2	14	主人、奥様	川島潤明様	法要記念品礼状	
48	2	14	－	藤本吉右衛門様	孟宗竹枯枝至急送付願う	
49	2	16	本家	鎌田儀一殿	ギア見本至急送付願う	
50	2	16	－	御主人様宛	小野駿一氏妻今日死去	電報案、午後三時
51	2	16	執事	九州水力電気会社大分出張所御中	公債利息請求書加判のうえ返送	
52	2	16	本家	梁瀬商会宛	自動車部品到着、至急内訳仕切書送付願う	
53	2	17	－	植田武雄様	法要記念品礼状	
54	2	18	執事	中山旅館御中	火鉢未だ不着につき取調べ願う	
55	2	18	－	小林徳一郎様	東京大相撲案内受領	
56	2	24	－	御主人様宛	福原栄太郎氏妻今日死去	電報案、午後三時
57	2	25	－	原田茂俊様	法要記念品礼状	
58	2	25	－	高野山 本覚院様	凍豆腐贈呈礼状	
59	2	25	－	増野爽熊様	御老母様逝去お悔やみ、香料送付	
60	2	25	－	田中工場	「ラゼエタカバ」至急送付願う	電報案、午後五時
61	2	26	－	榮原和太郎	急用のため至急帰れ	電報案、八時四十分
62	2	26	－	田中工場	まだ着かず、取調べ願う	電報案、午前十一時
63	2	26	－	三村稱平様	法要記念品礼状	

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
64	2	26	－	御主人様宛	両豊銀行長野松太郎氏死去につき指示願う	電報案、午后四時
65	2	27	－	長野潔様	御尊父様逝去お悔やみ、香料送付	
66	2	29	－	鳥屋旅館	さらに送る	電報案、午后三時
67	3	1	－	衛藤又三郎	御令息逝去お悔やみ	電報案
68	3	2	アソ	佐伯梅二	4日石碑棟上げ頼む	電報案、八時半
69	3	2	－	平野幸吉殿	故中野氏肖像彫刻に関する申入れあるも面会が困難なため、あてにせず彫刻するよう、伝言を頼む	
70	3	2	アソウタキチ	藤井朝次	御尊父逝去お悔やみ	電報案
71	3	3	－	梅谷清一	6日博多3時発にて他行、用件は福岡で聞く	電報案、前十時半
72	3	3	－	小野駿一様	御令閨様逝去お悔やみ、香料送付	
73	3	3	－	大隈信常様、横山章様	招待礼状	
74	3	3	－	大分紡績株式会社御中	印鑑捺印のうえ返送	
75	3	3	－	大嶋弥三郎殿	門司支店への転勤に際し挨拶	
76	3	3	－	貝島永二様	合名会社への転勤に際し挨拶	
77	3	3	－	伯爵 立花寛治様	法要記念品礼状	
78	3	3	－	渡辺省三様	若松支店長就任に際し挨拶	
79	3	3	－	徳田久作殿	若松築港会社技師長就任に際し挨拶	
80	3	3	－	中垣直人殿	欧米視察からの無事帰国を祝す	
81	3	3	－	三菱長崎造船所長 濱田彪殿	軍艦多摩進水式欠席失礼	
82	3	3	－	三木正夫殿	三菱合資会社参与への転勤に際し挨拶	
83	3	3	－	山田敬亮殿	藤田合名会社専務理事就任に際し挨拶	
84	3	3	－	小野幸三郎殿	大阪西支店長への栄転に際し挨拶	
85	3	3	－	神戸造船所長への転勤に際し挨拶		
86	3	3	－	属最吉殿	本店への栄転に際し挨拶	
87	3	3	－	松本純次郎殿	京都支店長への転勤に際し挨拶	
88	3	4	－	衛藤又三郎様	御令息様逝去お悔やみ、香料送付	
89	3	3	－	大分日々新聞 衛藤又三郎殿	大分日々新聞紙齢10年祝辞、祝い金贈呈	
90	3	3	－	井手重太郎殿	申越しの山林希望なし	
91	3	5	－	安田耕作殿	別府温泉土地株の件は内情不明のため回答不能	
92	3	5	－	三浦義豊殿	彦島造船所長就任に際し挨拶	
93	3	5	－	小林作五郎様	無事帰省を祝す	
94	3	5	－	末松謙澄様	御来訪・書状礼状	
95	3	7	－	志摩三郎殿	本県農事試験場長就任に際し挨拶	
96	3	11	アソウタキチ	東筑中学校長 岡野代忠	卒業証書授与式の盛典を祝す	電報案
97	3	12	－	古川久様	無事帰朝を祝す	
98	3	13	－	青柳才吉殿	法要記念品礼状	
99	3	13	－	彌寝三次殿	中島鉱業入社、専務取締役就任に際し挨拶	
100	3	14	－	尾上登太郎殿	本店への転勤に際し挨拶	
101	3	16	アソウルスタク	大分紡績会社	今日重役会欠席	電報案
102	3	19	－	藤山雷太様	病氣回復祝辞、贈物礼状	
103	3	19	－	岡本栄吉様	議会開会中の厚誼礼状	
104	3	19	－	三木与吉郎様、中村門一郎様	同上	
105	3	19	－	高橋源次郎様	議会開会中の厚誼礼状	
106	3	20	アソウタキチ	直方高等女学校長 浅川雄太郎	卒業証書授与式の盛典を祝す	電報案
107	3	22	アソウタキチ	秋田鉱山専門学校長 横堀治三郎	卒業証書授与式の盛典を祝す	電報案
108	3	22	アソウタキチ	加納鑑子	太賀吉入学に際しての配慮御礼	電報案
109	3	22	アソウ	中尾誠之	太賀吉入学に対する礼状	電報案、朝
110	3	21	－	貴族院書記官長 河井弥八殿	観桜会参加	
111	3	22	－	貴族院庶務課会計係御中	旅費金受領、請求書・領収書送付	
112	3	22	－	新富竹殿	横山章氏通知の会費36円送付	
113	3	22	－	大国民社御中	雑誌賛助金10円送付	
114	3	23	アソ	嶋屋旅館	井上侯爵邸へ上等菓子・花を持参願う、今日上京	電報案
115	3	23	アソ	アソウナツ	井上侯爵葬式のため今日出発、明日夜到着	電報案
116	3	23	麻生太吉	井上侯爵	御尊母様逝去お悔やみ	電報案
117	3	23	－	小野隆雄様	法要記念品礼状	
118	3	22	－	中日実業株式会社副総裁 倉知鉄吉殿	中華綿業株式割り当て分300株引受	
119	3	23	アソウ	中日実業株式会社	中華綿業株式割り当て分300株引受	電報案
120	3	23	－	範多竜太郎殿	大阪海上火災保険株式会社社長辞任に際し挨拶	
121	3	23	－	多羅尾源三郎殿	大阪海上火災保険株式会社取締役社長就任に際し挨拶	
122	3	23	－	浅井義明殿	大阪海上火災保険株式会社専務取締役就任に際し挨拶	
123	3	25	－	川崎軍治殿	台湾銀行理事就任に際し挨拶	
124	3	25	－	野々村甫成殿	申越しの伊藤公揮毫希望なし	
125	3	25	－	山住仁右衛門殿	申越しの阿蘭陀仏木像希望なし	
126	3	28	アソウ	服部鶴五郎	乗車券送付したか照会	電報案
127	3	28	アソウ	上山満之進	万国議員商事会議出席に際し挨拶	電報案
128	3	28	－	長谷川赳夫	同上	電報案
129	3	28	－	鶴田正義様	29日～4月1日在宿、2日以降他行の予定	
130	3	29	アソウ	大分紡績会社 横溝専務宛	明日出席	電報案
131	3	29	－	佐伯梅次様	本山講より別紙到来。20人増加分の費用は当方支出につき取り計らい願う	
132	3	29	アソ	鶴田正義	急用にて今大分へ行く	電報案
133	3	31	アソウタキチ	三井工業学校長 神作濱吉	卒業証書授与式の盛典を祝す	電報案
134	3	30	－	矢口長右衛門殿	議会開会中の厚誼礼状	
135	3	31	アソウ	服部鶴五郎	「バス」急送頼む	電報案、朝

「麻生家文書」発信原稿細目録（2）

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
136	4	1	アソ	服部鶴五郎	「パス」送らねば京都俵屋に急送頼む	電報案、朝。「取消」の付記と共に抹消線あり
137	4	1	アソウ	服部鶴五郎	「パス」急送頼む	電報案、「至急」とあり
138	4	1	ー	子爵 内田康哉様	法要記念品礼状	
139	4	2	アソウ	ニシノケイノスケシツジ	別府建築の建材利用約束のため見合わせの旨、伝言頼む	電報案
140	4	2	ー	高田保様	鹿児島紡績会社取調書送付願う	
141	4	2	ー	男爵 黒田長和様	福岡市衆議院議員候補者について、太田君の出馬意向の一方、博多協会・公友会は松永を推す見込み	
142	4	3	ー	横山章殿	議会開会中の厚誼礼状	
143	4	5	アソウ	平野幸吉	原氏邸へ見舞いとして上等葡萄酒1箱を持参願う	電報案
144	4	6	アソウタキチ	堀春一	御尊父逝去お悔やみ	電報案
145	4	8	ー	福原栄太郎様	法要記念品礼状	
146	4	10	ヤス	麻生夏子	今無事帰った	電報案、午後二時
147	4	13	ー	瓜生治様	法要記念品礼状	
148	4	13	ー	宮崎勇様	法要記念品礼状	
149	4	13	ー	柴田猛雄殿	久恒鉱業株式会社入社に際し挨拶	
150	4	16	ー	株式会社安川電機製作所取締役社長 安川清三郎	株式会社組織拡張祝辞	電報案
151	4	20	ー	本願寺執行長 今里游玄	信法院広如上人50回忌法要に際し、香料送付	
152	ー	ー	ー	九州実業之煙社社長 牧尾翠仙殿	雑誌『九州実業之煙』発刊祝い金として5円贈呈	
153	4	13	アソウ	東洋製鉄会社	14日重役会欠席	電報案
154	4	16	ー	馬関毎日新聞社社長 秋田寅之介	御社30年記念を祝す	電報案
155	4	24	アソウタキチ	侯爵 井上勝之助	謹みて御遠拝申し上げ	電報案
156	ー	ー	ー	日本工業倶楽部御中	申越しの写真一葉郵送希望	
157	4	23	アソウタキチ	古市博士授爵聯合祝賀会	授爵祝賀会の盛典を祝す	電報案
158	4	14	吉浦名	服部鶴五郎様	議会書類受領、回送礼状	
159	4	14	ー	大道良太様	門司在勤中の礼状	
160	4	14	ー	松田源治様	当選疑いなし、2000円送付	
161	4	20	ー	榎谷音三様	法要記念品礼状	
162	ー	ー	アソ	瓜生長右衛門	選挙のことで急用あり、至急帰県願う	電報案
163	ー	ー	アソ	中西四郎平	用事あり、至急帰県願う	電報案
164	4	20	ー	中垣直人殿	面会でできず失礼、土産物贈呈礼状	
165	4	20	ー	遠藤甚勝	申越しの宝物希望なし	
166	4	20	ー	辰巳豊吉殿	御令閨様逝去お悔やみ、香料送付	
167	4	22	アソウ	中西四郎平	今福岡へ行く	電報案、午前八時十分
168	4	22	ー	平野幸吉殿	伊藤伝右衛門名義で益田氏へ596円を持参願う	
169	11	30	アソウ	松本健次郎	明治炭坑長小旗氏と連絡取れず心配	電報案
170	ー	ー	アソウ	河村茂十郎	小旗氏本日より他行とのこと一同心配	電報案
171	4	30	ー	梅谷清一殿	豊州炭硯に関する調査書送付	
172	4	30	ー	井上千太郎殿	新嘗祭御献納新穀耕作田地鎮祭欠席失礼	
173	5	1	アソウタキチ	工業博覧会長 内田嘉吉	工業博覧会褒賞授与式の盛典を祝す	電報案
174	4	30	ー	後藤九十九殿	申越しの頼野鉱区希望なし	
175	4	30	ー	伊藤伝右衛門様	益田家への送金は烏屋に委託	「五九六——」と付記
176	5	3	ー	会長 安河内麻吉殿	日本海々戦記念祝賀会寄付金1万円送付	
177	4	30	ー	北海道炭硯株式会社御中	満30年祝賀記念写真帖贈呈礼状	
178	4	30	ー	木下淑夫様	鉄道院在職中の厚誼礼状	
179	4	30	ー	侯爵 井上勝之助様	忌明記念品礼状	
180	ー	ー	ー	井上禎之助殿	総会止む無く欠席、役員改選に係る投票を依頼	
181	4	30	ー	鉄道院運輸局御中	『温泉案内』贈呈礼状	
182	4	30	ー	益田信世様	三井銀行福岡支店への振り込みを確認	
183	4	30	ー	青柳郁次郎殿	総選挙当選祈願	
184	4	30	ー	吉原正隆殿	支那通信計画の援助を求めた人物の評価を照会	
185	4	30	ー	西勝造殿	「大正九年中炭坑高低予報」贈呈礼状、11月の低落に甚だ痛心	
186	5	3	ー	梅谷清一殿	豊州炭硯調査書捺印のうえ送付	
187	5	4	ー	松本健次郎様	明治炭坑諸氏の件感謝、戸畑の方も好都合	「直筆」とあり
188	5	6	アソウタキチ	杉七郎	子爵薨去お悔やみ	電報案、前十時
189	5	6	アソウ	平野幸吉	杉子爵邸に香典として50円を持参願う	電報案、前十時
190	5	9	アソウ	野田勢次郎	10日出発見合わせ、20日までに上京	電報案
191	5	3	ー	野田勢次郎様	竹内氏との内談拝承、総選挙・議会開会の都合で10日以降に上京可能	
192	5	10	ー	伊藤吉太郎	電話にて選挙差し止め	電報案
193	5	11	ー	岡本友俊殿	市長招待会費45円送付	
194	5	11	ー	入江準吉殿	棚橋専務は交渉模様を承知せず、本日当局者と視察	
195	5	11	ー	坂田真太郎殿	無事帰朝を祝す	
196	5	11	ー	勝部文六殿	鳥根県庁への転勤に際し挨拶	
197	5	11	ー	五島慶太殿	鉄道院辞職、武蔵電気鉄道入社に際し挨拶	
198	5	11	ー	金色澤造殿	箭山神社改築工費寄付謝絶	
199	ー	ー	ー	金色澤造殿	お出でであっても留守	電報案
200	ー	ー	アソウ	西野恵之助外四人	ご配慮により三好当選	電報案
201	5	13	アソウタキチ	三好徳松、青柳郁次郎、毛里保太郎、吉田磯吉、中野正剛、有馬秀雄、吉原正隆、赤間嘉之吉、山口恒太郎、松永安左衛門、守永平助	当選祝辞	電報案

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
202	5	14	アソウタキチ	原敬、床次竹二郎、中橋徳五郎、野田卯太郎、元田肇、原田十衛、横田千之助、松田源治、望月圭介、木下謙次郎、岡崎邦輔、高橋光威、鶴澤総明、鳩山一郎、岩崎勲、川原茂輔、横山寅一郎、中倉万次郎、一宮房次郎、波多野承五郎、小橋一太、宮田光雄、海江田準一郎、山本条太郎、井上孝哉、田中隆三、橋本喜造、蔵内次郎作、中村清造、江崎幸太郎、渡辺祐策、崎山克治、富安保太郎、松野鶴平、指田義雄、菅原伝、中西六三郎、仙波太郎、井上角五郎、今泉嘉一郎、山口熊野、吉植庄一郎、大岡育造、秦豊助、小久保喜七、島田俊雄、成田栄信、堀切善兵衛、浜口吉兵衛	当選祝辞	電報案
203	5	16	アソウタキチ	小川平吉	国勢院総裁就任祝辞	電報案
204	5	16	アソウタキチ	元田肇	大臣就任祝辞	電報案
205	5	16	アソウタキチ	大本遠吉	大臣就任祝辞	電報案
206	5	17	アソウ	東洋製鉄会社	18日重役会欠席	電報案
207	5	17	アソウタキチ	中川良長	貴族院議員中川子爵逝去お悔やみ	電報案
208	5	19	－	赤岩八郎様	無事帰朝を祝す	
209	5	19	－	吉田健三郎殿	八幡製鉄所への栄転に際し挨拶	
210	5	19	－	瓜生信之殿	叙勲祝辞	
211	5	20	－	田島勝太郎殿	農商務書記官兼製鉄所理事への栄転に際し挨拶	
212	5	21	－	株式会社弘報堂社長 江藤甚三郎殿	株式会社組織変更祝辞	
213	5	23	－	野口篤雄殿	無事帰朝を祝す	
214	5	24	－	堀坂政太郎	御尊父逝去お悔やみ	電報案
215	5	26	－	鍋島桂次郎様	忌明記念品礼状	
216	5	27	アソウタキチ	日本海々戦記念会長 安河内麻吉	盛会を祝す	電報案
217	5	28	－	村上義太郎様	申越しの鉄板希望なし	
218	5	29	－	貴族院庶務課御中	第43回帝國議會貴族院議事速記録入手希望	
219	5	31	－	村上巧児様	県庁記念館の件確認願ひ	
220	5	31	－	伊藤伝右衛門様	田中屋より依頼の分支払い済み	「二三二——」とあり
221	6	－	アソウタキチ	早川千吉郎	貴族院議員勅任祝辞	電報案
222	6	－	アソウタキチ	犬塚勝太郎	同文	電報案
223	6	4	アソウタキチ	河合鼈	栄転祝辞	電報案
224	6	4	－	室田義文様	益田氏一行来県日時を通知願う	
225	6	4	－	田中屋主婦殿	別府別荘15日以降ならばご使用差し支えなし	
226	6	5	－	長尾雲龍様	贈物礼状	
227	6	5	アソウ	大分紡績会社社長 長野善五郎	10日重役会出席	電報案
228	6	6	アソ	室田義文	九州来訪の進展を照会	電報案
229	6	6	アソ	入江準吉	九水棚橋に電した	電報案
230	6	6	アソ	棚橋琢之助、村上巧児	馬見村電灯の件で人を派遣	電報案
231	6	8	－	九州電灯鉄道会社御中、九州電気軌道会社御中	乗車券受領通知、前乗車券返却	
232	6	9	アソウタキチ	寺内正毅	御北堂様逝去お悔やみ	電報案
233	6	9	アソ	平野幸吉	寺内伯爵邸へ香典として100円を持参願う	電報案
234	6	13	－	春田茂躬殿	中日実業会社取締役就任に際し挨拶	
235	－	－	アソウタキチ	豊川順弥	御尊父様逝去お悔やみ	電報案
236	－	－	アソウ	平野幸吉	豊川氏邸へ香典として50円を持参願う	電報案
237	6	14	－	伊藤伝右衛門様	皇太子献上品代金割当分308円65銭を送付	
238	6	16	アソウタキチ	北海道夕張炭坑 高城規一郎	坑内非常災害見舞い	電報案
239	6	17	－	東京日々新聞社学芸部御中	申越しの写真1葉送付	
240	6	19	アソウタキチ	大日本国粋会九州本部長 横地長幹	発会祝辞	電報案
241	6	19	アソウタキチ	男爵 中村雄次郎	宮内大臣就任祝辞	電報案
242	6	19	アソウタキチ	湯村元之	御令息逝去お悔やみ	電報案
243	6	19	－	石橋愛太郎殿	福岡市助役就任に際し挨拶	
244	6	19	－	柳井義男殿	本県警察部高等警察課長就任に際し挨拶	
245	6	20	アソウタキチ	田中隆三	農商務次官就任祝辞	電報案
246	6	20	アソウ	尼崎伊三郎	21日他行、いつまで滞るか	電報案
247	6	21	－	石崎敏行殿	内談の件謝絶	
248	6	23	－	東京御主人	24日議院内で開催の、尼港事件受難者追悼会式次第到来	
249	6	23	－	長谷川泰平殿	古河鉱業会社西部鉱業所長への転勤に際し挨拶	
250	－	－	－	田辺勝太郎殿	本社への栄転に際し挨拶	
251	6	26	－	筋田可杜殿	別府番人給料支給額通知、至急別府行きを求める	
252	6	26	執事	九水支社宛	委任状捺印のうえ送付	
253	6	27	アソウ	大分紡績株式会社	委任状今出した	電報案
254	7	1	－	谷口源吉殿	申越しの件重要につき貴所訪問予定	
255	7	4	－	筋田可杜様	別府番人の件の進展を照会	
256	7	7	執事	筑豊鉱業組合事務所御中	道路変更届捺印のうえ送付	
257	7	7	－	谷保一様	法要記念品礼状	
258	7	12	執事	九州産業鉄道株式会社御中	主人宛報酬・賞与受領通知	
259	7	12	－	中嶋卯三郎様	中元礼状	
260	7	14	－	小野寺博士様	別紙の通り故井戸博士奨学基金に寄付	「主人」ほか6名分の寄付額付記
261	－	15	－	花田政治	福岡駅に迎車依頼	電報案
262	7	17	－	松尾勝太郎	加納奥様今日貴地到着	電報案、午前八時

「麻生家文書」発信原稿細目録（2）

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
263	7	22	麻生屋様依命発信 答	在京御主人様	嘉穂銀行総会開催通知到来	電報案
264	7	24	－	井上政美様	御尊父様逝去お悔やみ	
265	－	－	－	在京御主人様	無事女子出産、安心ごう	電報案、○時三十分
266	－	－	－	藤沢錫、藤沢幹二、金子豊次郎	無事女子出産、安心ごう	電報案、○時三十分
267	－	－	－	夏子奥様	無事女子出産	電報案、○時三十分
268	7	31	－	鶴澤総明様	28日午後帰県のうち実物調査を経て、購入可否を決定	
269	7	31	－	貞永恭一様	面会でできず残念	
270	7	31	－	石黒栄太郎殿	平林総本店入社に際し挨拶	
271	7	31	－	古川席三郎殿	国際海上労働会議顧問として渡欧に際し挨拶	
272	7	31	－	坂田幹太殿	大阪合同紡績株式会社入社に際し挨拶	
273	7	31	－	貝嶋栄四郎殿	洋行土産物贈呈礼状	
274	8	1	－	佐伯梅次	義之介病気のため出発できず	電報案
275	8	1	－	今泉健三殿	博多商業会議所書記長辞任に際し挨拶	
276	8	1	－	中央新聞社長 吉植庄一郎殿	組織変更10周年記念盃贈呈礼状	
277	8	5	－	塚本安次様	出産祝い	
278	－	－	－	九州水力電気株式会社御中	貴社乗車券受領、前乗車券返却	
279	8	9	吉浦名	平野幸吉殿	勲章・タオル他受領、一ノ井先生目録不着	
280	8	9	－	平田篤次郎殿、河原林裡一郎殿	義之介家内見舞い礼状	
281	8	10	アソウ	吉原正隆	福岡にて面会希望	電報案、朝
282	8	11	－	鶴澤総明	書籍購入まともだったか照会	電報案
283	8	11	－	佐藤興三様	申越しの平戸鉾区の実地調査見込みなし	
284	8	1	－	仙波太郎様	面会礼状	
285	8	11	－	佐伯梅治殿	墓碑の設計や注文、石灯籠素材等について指示	
286	－	－	－	伊藤伝七様	伊勢鉾区の件延引失礼	
287	8	11	－	岡本栄吉様	臨時議会議中中の厚誼礼状	
288	8	9	アソウ	中倉万次郎	まだ決まらず、帰県のうち返事	電報案
289	8	11	－	藤崎逸象様	法要記念品礼状	
290	8	11	－	和田豊治様	調査表拝受	
291	8	11	－	田中市右衛門様	伊勢地方炭田調査は実地踏査の後に返事	
292	8	11	－	藤澤幹二様	病院その他への迷惑に対する謝金送付	抹消のうち「取消」とあり
293	8	12	－	鶴澤総明様	司法図書買入代金1万円送付	
294	8	12	アソウ	鶴澤総明	1万円為替券送付	電報案、午後一時
295	8	13	－	子爵 杉七郎様	法要記念品礼状	
296	8	17	－	陰山栄殿	中元礼状	
297	8	17	本家	古川専之助殿	贈物礼状	
298	8	17	－	伊藤万太郎殿	中元礼状	
299	8	19	－	桜井高尚殿	無煙炭鉾区調査は先年実施も確実な見込みなきため、なお調査が必要	
300	8	19	－	平尾喜三郎殿	臨時議会議時の厚誼礼状	
301	8	20	－	吉原正隆様	赤間の件重ねて依頼、熊本税務監督局主任柴田氏副司税官就任幹旋依頼	
302	8	21	－	高橋源次郎様	臨時議会議時の厚誼礼状	
303	8	30	－	矢口長右衛門様	同上	
304	8	21	－	八木岡春山様	近況報告	
305	－	－	－	尼崎伊三郎様	ご所有の敷島炭坑譲受希望者を紹介	
306	8	25	－	堀三太郎様	福岡にて面会希望	
307	8	26	－	安川敬一郎様	開墾会社株式申込の件、福岡で面会希望	
308	8	26	－	藤瀬政次郎様	中野正剛立候補時援助御礼、一部返金	
309	－	－	－	野田卯太郎様	東鉄の件尽力御礼、現状の経営方針では紛議に発展	
310	8	30	アソウ	秋根定助	「5000円十七銀行にて取れ」	電報案、抹消
311	8	31	－	川崎武之助様	法要記念品礼状	
312	9	1	－	加納鑑子	今皆出発、明日夜横浜到着	電報案
313	9	2	－	西野恵之助様	贈物礼状	
314	9	2	アソウタキチ	大道良太	東京鉄道局長への栄転祝辞	電報案
315	9	2	アソウタキチ	松田源治	勅任参事官就任祝辞	電報案
316	－	－	－	若松築港会社取締役会長 松本健次郎殿	6日取締役会欠席	
317	9	8	アソウタキチ	公爵 西園寺公望、伯爵 内田康哉、子爵 高橋是清、子爵 渋沢栄一、子爵 牧野伸顕	昇爵祝辞	電報案
318	9	8	アソウタキチ	一等 野田卯太郎、一等 中橋徳五郎、一等 床次竹次郎、一等 元田肇、二等 高橋光威、二等 横田千之助、二等 二上兵次、三等 福井栄三郎	昇勲祝辞	電報案
319	9	8	アソウタキチ	男爵 加藤友三郎、男爵 田中義一、〃 山本達雄	授爵祝辞	電報案
320	9	12	アソ	中島久万吉	出席通知	電報案
321	9	12	アソウ	赤十字社支部	明日商議員会欠席	電報案
322	9	12	アソウタキチ	望月圭介	勅任参事官就任祝辞	電報案
323	9	13	－	和才誠司殿	大分聯隊区司令部への転勤に際し挨拶	
324	9	13	－	留岡幸助殿	農場好成绩承知	
325	9	20	－	入沢京太郎様	「大正時報」寄付金30円送付	
326	9	24	－	伊藤伝七様	本日帰県、全快後に上京予定	
327	9	24	－	平野幸吉殿	元田大臣邸へ見舞いとして葡萄酒2箱を持参願う	
328	9	26	－	貝島太市様	三井物産との石炭委託販売停止、直売開始に際し挨拶	

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
329	－	－	－	貴族院庶務課文書係御中	大演習陪観希望	
330	9	26	ウリウ	多田百次郎	見込価格報知希望、そのうえで上阪・面談	電報案、午八
331	9	28	－	篠崎昇之助様御令室様	御尊母様逝去お悔やみ、香料送付	
332	9	28	アソウタキチ	尚昌	貴族院議員尚典薨去お悔やみ	電報案
333	9	29	アソウタキチ	筑豊鉱山学校長 山田邦彦	卒業証書授与式の盛典を祝す	電報案
334	9	29	－	麻生観八様	九水九州重役協議会日時について、12日ならば必ず出席	
335	9	29	－	和才誠司殿	別府別荘留守受持の件、3日前に既に別府入り	
336	9	29	－	時事新報社長 福沢捨次郎殿	帝国劇場招待欠席	
337	9	29	－	坂田真太郎殿	停車場起業目論見書・予算書返却	
338	9	29	－	下村宏殿	『朝日講演集』贈呈礼状	
339	9	29	－	服部鶴五郎殿	歳費領収証受領、計算書送付希望	抹消
340	9	29	吉浦名	服部鶴五郎殿	歳費領収証使用印誤りのため、別途書類送付願う	
341	9	29	－	九水大分出張所	9月分報酬受領、領収証送付	
342	9	29	アソウ	伊藤伝七	来月1日出発、2日午後到着予定	電報案
343	10	1	アソウ	伊藤伝七	明日午後到着	電報案
344	10	1	－	伊藤伝七殿	店員山崎誠八実地踏査のため出発、取り計らい願う	「(山崎氏持参)」とあり
345	10	1	アソウタキチ	斉藤行三	栄転祝辞	電報案
346	10	1	アソウタキチ	大島直道	内務省への栄転祝辞	電報案
347	10	1	アソウタキチ	金子省多呂	昇進祝辞	電報案
348	－	－	アソウタキチ	秋田鉱山専門学校長 横堀治三郎	創立10周年記念式の盛典を祝す	電報案
349	10	3	アソウ	和田豊治	暴風雨見舞い	電報案
350	10	4	－	浜崎健吉殿	株式損失の件は行金費消にあたるため所轄警察署へ照会中	
351	10	5	－	後藤文夫殿	株式損失に係る行金費消事件につき、貴地警察署へ照会中。仲買店の陳述につき注意願う	
352	10	5	－	篠崎昇之助様御奥様	法要記念品礼状	
353	10	8	－	麻生彦三郎	御主人6時到着、食事不要	電報案、午前八時
354	10	8	アソウ	平野幸吉	末松子爵邸へ香典として50円を持参願う	電報案
355	10	9	－	麻生観八様	11日大紡重役会・12日九水協議会ぜひ出席希望も病状悪化のため欠席	
356	10	9	アソウ	大分紡績会社	11日重役会欠席	電報案
357	10	9	－	九水大分出張所	12日協議会欠席	電報案
358	10	11	－	松田源治様	納祖八幡宮県社昇格の指令なく憂慮、取り計らい願う	
359	10	12	アソウ	梅谷清一	九鉄への許可実に意外、野田通相に面会し事実確認願う	電報案
360	10	12	－	三越十番売場 大竹殿	金子子爵令嗣披露宴用の贈物用意願う	
361	10	12	－	湯浅丈郎殿	三井郡長への転勤に際し挨拶	
362	10	11	－	宮原政彦殿	佐賀小林区署長就任に際し挨拶	
363	10	15	アソウタキチ	松田太郎	御尊父様逝去お悔やみ	電報案
364	10	15	アソウタキチ	庄野金十郎	御令嬢逝去お悔やみ	電報案
365	10	15	アソウ	野田卯太郎	電報拝承	電報案
366	10	16	アソウタキチ	山田駒之輔	御尊父様逝去お悔やみ	電報案
367	10	16	－	木村順太郎様	納祖八幡宮県社昇格の件につき別紙回覧願う	
368	10	18	－	稲田龍吉様	炭坑病院一般診療開始に際し記念品贈呈	
369	10	18	－	松本健次郎様	飯塚病院として一般診療開始に際し記念品贈呈	
370	10	18	－	吉村万治殿	農商務省燃料研究所長就任に際し挨拶	
371	10	18	－	石垣倉治殿	本県産業部長就任に際し挨拶	
372	10	19	アソウタキチ	小室俊夫	御尊父様逝去お悔やみ	電報案
373	10	19	吉浦名	服部鶴五郎殿	ご送付の用紙・送金通知書に調印のうえ返却	
374	10	19	－	鷺塚正人殿	遠賀郡長への転任に際し挨拶	
375	10	21	－	御姉様逝去お悔やみ、香料送付		
376	10	21	－	吉田磯吉	御令閨様逝去お悔やみ	電報案
377	10	21	－	室田義文様	御令息様逝去お悔やみ、香料送付	
378	10	21	－	小室俊夫様	御尊父様逝去お悔やみ、香料送付	電報案
379	10	22	－	伊藤伝七様	伊勢地方鉾区実地踏査報告書は図面品切れのため延引	
380	10	22	－	黒瀬弘吉殿	本県警察部長就任に際し挨拶	
381	10	21	－	梅谷清一様	病気のため外出不可、東京での交渉模様を通知願う	
382	10	22	－	福原栄太郎様	御令息様婚儀披露宴には代理として義之介が出席	
383	10	23	－	和田豊治様	別府別荘竣工祝辞、病気のため赴けず失礼	
384	10	23	－	野田卯太郎様	病気のため外出不可、森田・伊藤両氏に依頼	
385	10	14	－	平野幸吉殿	東京駅から荷物回送依頼	
386	10	24	－	多田増太郎	御尊父様逝去お悔やみ	電報案
387	10	24	－	多田増太郎殿	御尊父様逝去お悔やみ、香料送付	
388	10	24	－	和田豊治	別荘新築落成祝辞、招待謝絶失礼	電報案
389	10	22	－	久保通直殿	炭坑視察御礼、販売への配慮願う	
390	10	28	－	松本健次郎様	大臣歓迎宴会御高配礼状	
391	10	28	－	森田正路様	請願の件、山中立木氏からも別紙の通り到来	
392	10	28	－	森田正路様	九州大会出席できず失礼、御高配礼状	
393	－	－	アソウ	野田勢次郎	家の事しばらく見合わせたし	電報案
394	11	1	－	伊藤伝七様	伊勢地方鉾区試験結果報告	
395	11	1	－	伊藤伝七様	紡績会社等石炭需要先調査を依頼	
396	10	31	－	庄野金十郎様	法要記念品礼状	
397	11	1	－	筑豊石炭鉾業組合事務所御中	山内・森田両代議士上京補助金受領通知	
398	11	4	－	二神駿吉殿	忌明記念品礼状	
399	11	4	－	大屋久様	法要記念品礼状	

「麻生家文書」発信原稿細目録（2）

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
400	11	4	－	麻生親八様	病氣見舞い礼状、病状報告	
401	11	5	－	井手嘉平殿	官界引退に際し挨拶	
402	11	5	－	故寺内伯爵銅像建設発起人御中	故元帥寺内伯爵伝記贈呈礼状	
403	11	6	－	吉原正隆様	九州大会出席できず失礼、九水・嘉穂電灯間の電力融通許可を至急求める	
404	11	6	アソウタキチ	慶應義塾々々長 鎌田栄吉	大学医学部開校開院の盛典を祝す	電報案
405	11	6	－	山田駒之輔様	病氣見舞い礼状	
406	11	6	－	鮎川義介様	病氣見舞い礼状、病状報告	
407	11	9	アソウタキチ	岸田仁郎	御尊父逝去お悔やみ	電報案
408	11	9	－	中村作次郎様	『好古堂一家言』贈呈礼状	
409	11	9	－	柴田徳次郎様	病氣見舞い礼状	
410	11	9	－	三宅速様	診察御礼、現在の病状報告	
411	11	10	アソウ	吉原正隆	御高配謝す	電報案
412	11	10	－	吉田豊様	御尊父様逝去お悔やみ、香料送付	
413	11	11	アソウタキチ	友枝浩多	御尊父逝去お悔やみ	電報案
414	－	－	－	藤沢幹二様	病状報告、病院の件は16日に部長ら関係者と協議予定につき来訪願う	
415	11	13	－	大分紡績会社 横溝万吉	病氣のため奉迎できぬ	電報案
416	11	12	－	榑保三郎様	病氣見舞い礼状	
417	11	13	アソウ	麻生親八	三宅博士来診、中山病院は承諾あったか照会	電報案
418	11	14	アソウタキチ	古賀織之助	御尊父逝去お悔やみ	電報案
419	11	14	－	古賀織之助様	御尊父様逝去お悔やみ、香料送付	
420	11	14	アソ	宮田竹次	16日朝来い	電報案
421	11	14	－	平野幸吉殿	病氣見舞い礼状	
422	11	15	アソ	麻生親八	三宅先生20日往診承諾、それ以前は困難	電報案
423	11	15	－	麻生親八様	三宅先生大学病院都合つかず、20日12時出発の列車で別府へ行く	
424	11	15	－	中野昇様	病氣見舞い礼状	
425	11	17	－	清水壮左久様	東京地方裁判所への栄転に際し挨拶	
426	11	17	－	桜井鉄太郎殿	神戸市長就任に際し挨拶	
427	11	17	－	侯爵 松方正義様	法要記念品礼状	
428	11	19	アソウ	大阪新報社	掲載見合わせ願う	電報案
429	11	19	－	横溝万吉殿	皇太子会社来臨祝辞ほか	
430	11	19	－	鈴木吉之助殿	土斐崎氏に対する件の面談には赴かないよう願う	
431	11	19	－	西園長三郎殿	県農工銀行第一部長就任に際し挨拶	
432	11	19	－	橋岡栄蔵殿	大演習時来訪礼状	
433	11	20	－	堀三太郎様	病氣見舞い礼状	
434	11	20	－	安川敬一郎様	病氣見舞い礼状	
435	11	23	アソウタキチ	三浦覚一	御尊父逝去お悔やみ	電報案
436	11	23	－	三浦覚一様	御尊父様逝去お悔やみ、香料送付	
437	11	23	－	鎌田馬之助様	御法川夫人逝去に際し香料送付	
438	11	26	－	占部保殿	男子安産祝辞	
439	－	－	－	林徳太郎様	病氣見舞い礼状	
440	11	29	－	多田増太郎殿	忌明記念品礼状	
441	11	29	－	吉田豊殿	法要記念品礼状	
442	11	30	－	森本光太郎殿	法要記念品礼状	
443	11	30	－	藤田治吉様	御初孫安産祝辞、産衣一着贈呈	
444	11	30	アソウタキチ	平田鬼丸	御尊父逝去お悔やみ	電報案
445	11	30	－	平田鬼丸様	御尊父様逝去お悔やみ、香料送付	
446	12	2	アソウタキチ	下条慎一郎	御尊父様逝去お悔やみ	電報案
447	12	2	アソウ	平野幸吉	下条氏邸へ香典として300円を持参願う	電報案
448	12	2	－	伊丹弥太郎様	病氣見舞い礼状	
449	12	2	－	武田三郎様	東京での挙式日程調整依頼	
450	12	3	－	吉原正隆様	飯塚郵便局新築落成につき、買上配慮を願う	
451	12	6	－	服部鶴五郎様	歳費領収証調印のうえ返却	
452	12	6	－	室田義文様	病氣見舞い礼状	
453	12	8	－	土斐崎三右衛門様	沓岐銀行の九水払込金・配当金取扱いの件を会社当事者へ申入れた旨報告	
454	12	9	－	棚橋琢之助様	沓岐銀行の配当金取り扱いの件は浦田氏と相談のうえ考慮願う、発電所工事直営は人夫の振り当てに好都合	
455	12	10	－	小室俊夫様	忌明記念品礼状	
456	12	14	－	森田正路様	山中氏より、離宮問題は当分運動見合わせの旨到来	
457	12	14	－	佐伯梅治殿	大阪毎日新聞社への思想界改善問題宣伝費寄付承諾につき領収証受領依頼、石炭販売尽力希望、病氣見舞い礼状	
458	12	20	－	室田義文様	法要記念品礼状	
459	12	21	－	西野恵之助様	病氣見舞い礼状	
460	12	21	－	和田豊治様	病氣見舞い礼状	
461	12	21	－	騎兵十二聯隊長 五歩一貞次郎殿	軍旗拝受記念祝典欠席通知	
462	12	23	アソウタキチ	和田幹男	御尊父逝去お悔やみ	電報案
463	12	23	アソウ	平野幸吉	和田維四郎氏へ香典として30円を持参願う	電報案
464	12	24	－	岩崎寿喜蔵様	病氣見舞い礼状	
465	12	14	－	峠延吉様	土産物贈呈礼状	
466	12	24	－	横溝万吉様	議會開会中の厚誼礼状	
467	12	24	－	高橋琢也様	学校寄付金1000円送付	
468	12	26	アソウタキチ	許斐友次郎	御尊父逝去お悔やみ	電報案
469	－	－	－	松本勘八郎様	祝品贈呈礼状	

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
470	12	29	－	古賀織之助様	贈物礼状	
471	12	29	－	佐伯梅治様	大谷墓所工事完成承知、厚誼御礼	
472	12	29	－	勝正憲様	贈物礼状	
473	12	29	－	川島七郎様	病氣見舞い礼状	
474	12	29	－	柴田徳次郎様	病氣見舞い礼状	
475	12	29	－	赤岩八郎様	青森病院長への栄転に際し挨拶	
476	12	29	－	二宮茂一郎様	高知税務署長への転勤に際し挨拶	
477	12	31	－	横山寅一郎様	松尾哲二郎氏の件は炭坑界不況のため応じがたい	
478	12	31	－	板倉勝憲様	病氣見舞い礼状	
479	12	31	－	一松定吉様	官界引退、弁護士転身に際し挨拶	
480	12	31	－	尼崎伊三郎様	病氣見舞い礼状、石炭買入につき厚遇御礼	
481	12	31	－	棚橋琢之助様	入用地所1坪あたりの予定金額を照会	
482	12	31	－	柴田伊八殿	日出税務署長への栄転に際し挨拶	
483	12	31	－	川嶋七郎様	九水への帰社を勧める	
484	12	31	－	桜井高尚様	舞鶴無煙炭坑区の件は炭坑界不況のため応じがたい	
485	12	30	－	松永安左衛門様	病氣見舞い礼状	
486	12	30	－	二神駿吉様	同上	

「大正九年議会御上京中 発信原稿」（第42回帝国議会（1）-5）

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
1	1	30	アソウ	麻生保子	今無事着いた	電報案、夜
2	1	30	アソウ	麻生太右衛門	同上	電報案、朝
3	1	31	－	若松市質屋組合総代 山崎徹郎殿	質屋取締法中改正請願書は本日紹介・提出	
4	1	31	－	八幡市質屋組合総代 石田俣太郎殿	同上	
5	1	31	－	永田省三郎殿	面会希望の内容を書面で通知願う	
6	2	2	アソウタキチ	貝島定一	御尊父様逝去お悔やみ	電報案、朝
7	2	2	アソウ	麻生義之助	別府土地名義彦三郎で支障なし	電報案、朝
8	2	2	－	麻生義之助殿	債務関係なきため、彦三郎名義を変更の必要なし	
9	2	2	吉浦名	吉谷専吉様	主人面会でできず失礼	
10	2	2	－	松本徳資殿	久留米藩調達金償還請願書は本日紹介・提出	
11	2	3	－	義之介殿	交際金額は野見山と相談、自動車代一切負担	
12	2	5	－	葉山若太郎殿	ご提出の請願書に年齢・職業を記入願う	
13	2	5	－	松本徳資殿	ご提出の請願書に年齢・職業を記入願う	
14	2	5	－	佛教聯合会本部御中	戦死者追弔法要欠席	
15	2	6	－	文部大臣官房文書課長 関屋龍吉殿	御省第45年報贈呈礼状	
16	2	6	－	有田広殿	九水100株券分割手続き取り計らい願う	
17	2	6	－	市長 久世庸夫殿	小学校教員俸給国庫支弁に関する請願本日紹介・提出	
18	2	7	－	進藤喜平太殿	小学校教育費国庫下渡金増額に関する請願本日紹介・提出	
19	－	7	アソウタキチ	麻生広	御内室逝去お悔やみ	電報案、夜十二時
20	－	－	アソウ	野見山米吉	麻生広家内葬儀は特別丁重に頼む	電報案
21	2	9	－	義之介殿	宮浦旧坑の至急調査、吉隈坑排水模様の報告等を願う	
22	2	10	－	上田穂敬殿	別府土地購入中止に関する指示	
23	2	10	－	麻生彦三郎殿	工事進捗照会	
24	2	10	－	野見山米吉	鉄道院石炭輸送価格照会、義之介上京依頼	電報案
25	2	11	アソ	麻生彦三郎	別府家貸与につき、客人の移転斡旋願う	電報案、朝
26	2	11	アソウ	麻生義之介	鉄道院中井氏と面会承知	電報案、朝
27	2	11	アソウ	野見山米吉	篠崎・義之介車で待たせるか	電報案
28	2	12	ア	宮本岩吉	神谷氏融通株1000株申込	電報案
29	2	12	アソウ	野見山米吉	網分炭鉄道院希望あり、義之介に通知あれ	電報案
30	2	12	－	宮本岩吉	神谷氏融通株は長野氏の照会通りに払込手続き願う	朝
31	2	13	アソウ	麻生商店	登記済、尽力謝す	電報案
32	2	13	アソ	野見山米吉	アメリカ加納氏に米貨1万ドルを至急送金願う	電報案、十二時発
33	2	13	アソウタキチ	鍋島桂次郎	御令夫人様逝去お悔やみ	電報案
34	2	13	－	佐伯梅治殿	鉄道院買上炭交渉問題にかかる関係者の動向報告、久原坑の交渉での利益につき岡本氏に介解	「直筆」とあり
35	2	14	－	中山貢生様	別府別荘下の家屋賃借は謝絶	
36	2	16	－	麻生彦三郎殿	竹垣の整備箇所支障なし	
37	2	16	アソウ	野見山米吉	山内坑地所買入の件一任	電報案、朝
38	2	17	アソウタキチ	小野駿一	御内室様逝去お悔やみ	電報案
39	2	17	－	窪田四郎様	中央開墾会社発起人として加入につき訂正希望	
40	2	18	－	創立委員 高野秀夫殿	九州青年党組織に際し10円寄付	
41	2	18	アソウ	麻生保子	旧正月帰られず	電報案
42	2	19	－	野見山米吉殿	米販売方法研究依頼、冷水鉄道に関係のため鉄道敷設法改正案委員として滞京	
43	2	20	－	黒田侯爵家執事	鴨10羽贈呈礼状	
44	2	21	アソウタキチ	福原栄太郎	御令閨様逝去お悔やみ	電報案、夜
45	2	23	－	麻生本家	福原氏に香典50円を送付願う	電報案
46	2	25	－	小林作五郎様	国立工業試験所増設請願書本日紹介・提出	
47	2	26	アソウ	野見山米吉	「議会解散になった」	電報案
48	2	26	－	伊藤伝右衛門	同上	電報案
49	2	27	－	長野潔	御尊父逝去お悔やみ	電報案
50	2	27	－	麻生本家	長野氏に香典20円送付願う	電報案
51	2	27	－	長渡南殿	面会でできず失礼	

「麻生家文書」発信原稿細目録（2）

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
52	2	27	－	麻生親八様	藍綬褒章下賜に際し記念品贈呈	
－	－	－	－	－	－	「郵券差引」と題する帳簿3丁巻末付属

「第四十三回議会で 発信原稿」（議会5(1)-34）

	月	日	差出人	宛先	概要	備考
1	－	－	－	宮田光雄、大島直道、力石雄一郎、折原巳一郎、室田義文、水野鎌太郎、下村宏、二上兵治、後藤文夫	晩餐会招待状	表紙-1丁間に挟み込み。水野の上に○印あり
2	－	－	－	－	晩餐会招待状発信を報告	電報案
3	7	1	－	福岡市長 久世庸夫殿	福岡市上水道費増加に因る国庫補助申請書は昨日提出	
4	7	2	－	麻生彦三郎	桃畑家屋はそのままで支障ないことほか別府建築に関する指示	
5	7	3	アソウタキチ	佐世保鎮守府司令長官 財部彪	巡洋艦北上進水式を祝す	電報案
6	－	－	－	－	成清5部、佐藤友右衛門5部、毛里保太郎15部、鎌田勝太郎20部	記カ。1丁に挟み込み
7	－	－	－	－	毛里保太郎の居所	記カ。1丁に挟み込み
8	7	4	－	武田三郎様	調査の結果、お話の一ノ宮ガス噴出地に石炭石油はなしと報告	
9	－	－	－	佐伯梅治殿	大谷墓地拡張の件御高配感謝、冥加金減額の件は先方の申し出に従う	
10	7	4	アソウ	渡辺卓築	所得税資格計算方法説明を送付願う	電報案
11	7	4	アソウ	藤森善平	上京し詳細を説明願う	電報案
12	7	6	－	藤森善平殿	区裁判所設置に関し司法省側と面会した旨報告、上山田飯塚間鉄道改修に関し至急駅長と懇談依頼ほか	
13	7	7	－	藤森善平殿	司法省側は飯塚区裁判所設置と直方区裁判所新設は無関係だと認識、至急申請書提出が得策	
14	7	13	－	野見山米吉	15日出発見合わせ	電報案
15	7	13	－	大蔵省 松本主税局長殿	各年末の銀行預金額、会社払込額照会	
16	7	15	－	早川千吉郎様	晩餐会歓待礼状	
17	7	15	アソウタキチ	川崎武之助	川崎男爵逝去お悔やみ	電報案
18	7	17	－	三好徳松殿	招待受諾通知	
19	7	17	アソウ	嘉徳銀行 倉智伊之助	決算異議なし、総会に帰る	電報案、夜
20	－	－	－	柴田徳次郎殿	ご送付の金銭の受領通知	
21	7	18	アソ	麻生太七	坑区の件打合せ意見なければ売却支障なし	電報案
22	7	19	－	麻生彦三郎殿	修繕・建増に別荘古材木を利用するよう指示	
23	7	20	－	男爵 藤田平太郎殿	所得税計算方法につき多額納税者議員一同で政府側へ質問した結果を報告、本年度さえ延期すれば経済界に折合と見込む	
24	7	22	アソ	野見山米吉	鉄道は可決することに内定と報告	電報案
25	7	22	－	鎌田勝太郎殿	所得税の件は勝田銀次郎氏に依頼、その他研究会幹部等に相談、調書入用の向きに配布願う	
26	7	22	アソウ	野見山米吉	帰県見合わせ	電報案、夜
27	7	22	アソウ	嘉徳銀行	帰県見合わせ	電報案、夜
28	7	25	－	恒藤規隆殿	東京農業大学に関する協議会欠席通知	
29	7	26	アソウ	嘉徳銀行	総会無事終了、ご配慮を謝す	電報案
30	7	27	アソウタキチ	若松新報社 児島卯太郎	発刊祝辞	電報案
31	7	27	－	堀三太郎、伊藤伝右衛門、冷水線敷設期成会長 藤森善平、郡長 川島潤明、山内剛	鉄道可決、ご安心を	電報案
32	－	27	アソウ	佐伯梅治	29日朝京都でお待ち願う	電報案、夜
33	－	－	アソ	麻生ヤス	30日朝門司着の予定	電報案
－	－	－	－	－	－	「印紙計算」と題する帳簿2丁巻末付属



本著作の著作権は著者に帰属します。注があるものを除いて、本著作の内容物はクリエイティブ・コモンズ表示－非営利－改変禁止 4.0 国際 (CC BY-NC-ND 4.0) ライセンスの下に提供されています。
<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

